PIXELA CORPORATION

205000033-1

PRODIA

取扱説明書





PIX-XT030-P00

地デジ DIGITAL

地上デジタルハイビジョンチューナー

DIGITAL Hi-Vision

この度は地上デジタルハイビジョンチューナー「PIX-XT030-P00」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書（以下、本書）を良くお読みのうえ、正しくお使いください。また、本書の裏表紙は製品保証書となっておりますので、読み終わった後も大切に保管してください。

はじめに

はじめて使うとき

確認しよう

準備しよう

接続しよう

設定しよう

使ってみよう

使いこなすには

メニュー画面

視聴の設定

チャンネルの設定

その他の設定

困ったとき

安全上の警告・注意

ご使用の前に、この「安全上の警告・注意」をよくお読みください。

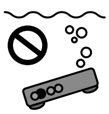
警告表示について

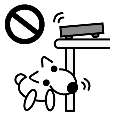
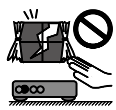
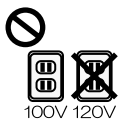
本書では、安全にご使用いただくために次のような表示、記号で表しています。人や財産への危害、損害の発生を防ぐために表示の内容をよく理解し、本製品をお使いください。

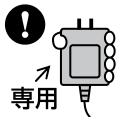
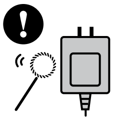
警告	この表示は「火災や感電などにより、死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は「感電やその他の事故により、けがや家財に損害を与える可能性が想定される」内容です。

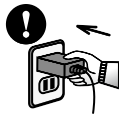
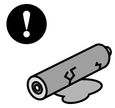
	行為を禁止する記号
	行為を指示する記号

警告

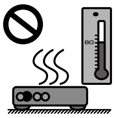
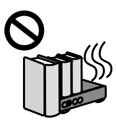
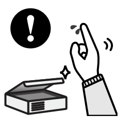
	以下の場合は、すぐに電源を切って、本製品の使用を中止してください。 ・故障している ・異音、異臭、煙が出ている ・内部に水や異物が入った ・破損して内部がむき出しになっている そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。修理は販売店または弊社までご相談ください。
	本製品の分解や改造、修理などは絶対にしないでください。 火災や感電、故障の原因になります。修理は販売店または弊社までご相談ください。
	本製品の破損原因となる、下記の行為はしないでください。 本製品を傷つける、落とす、強い衝撃を与える、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、束ねるなど。 傷んだまま使用すると、感電・火災の原因になります。修理は販売店または弊社までご相談ください。
	本製品の上面や近くに液体容器や金属類を置かないでください。 液体や金属類が本製品の内部に入ると、火災、感電、故障の原因になります。
	本製品を水につけたり、濡れた手で本製品に触れないでください。 感電や故障の原因になります。

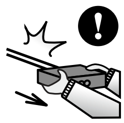
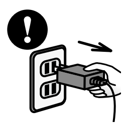
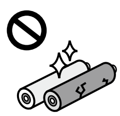
	本製品の内部に金属類や燃えやすいものを入れないでください。 火災や感電、故障の原因になります。
	本製品の内部に指を入れないでください。 けがや感電、故障の原因になります。
	振動や衝撃のある場所、傾斜しているなど、不安定な場所に本製品を置かないでください。また、そのような場所で本製品を使用しないでください。 倒れたり、落ちたりして、けがや破損の原因になります。
	雷鳴が聞こえたときは、本製品に触れたり使用しないでください。 感電の原因になります。
	プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所、および引火、爆発の恐れのある場所では使用しないでください。 爆発や火災の原因になります。
	コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしないでください。 たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

	本製品に付属の電源ケーブルを使用してください。
	専用の電源ケーブル以外を使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
	電源プラグの埃などは、定期的に掃除してください。
	埃が付着したまま使用すると、火災の原因になります。電源プラグはコンセントから抜いて、乾いた布でふいてください。

	電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
	差し込みが不完全なまま使用すると、火災や感電の原因になります。
	電池が液漏れしているときは、素手で触らないでください。また、電池から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
	皮膚の炎症や失明の原因になる恐れがあります。

注意

	直射日光の当たる場所や極端に温度が高くなる場所、または極端に温度の低い場所では使用しないでください。
	火災や故障の原因になります。
	湿気、油気、埃の多い場所や加湿器のある場所では使用しないでください。
	火災や感電、故障の原因になります。
	本製品の上に物をのせたり、布類で覆う、包む、通風孔をふさぐなど、風通しの悪い状態で使用しないでください。
	内部温度が上昇し、火災や故障の原因になります。
	本製品の上に重いものをのせたり、本製品の上に乗らないでください。
	火災や感電、故障の原因になります。
	輸送、開梱、廃棄時には、パッケージの取り扱いに気をつけてください。
	パッケージの端で手などを切り、けがの原因になります。

	本製品は小さなお子様の手が届かない場所に設置してください。
	けがの原因になります。
	本製品を移動するときは、接続しているケーブル類をはずしてください。
	ケーブル類が傷つくなど、火災、感電、故障の原因になります。
	長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
	電源プラグに埃がたまり、火災や感電の原因になります。
	お手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
	感電の原因になります。
	指定以外の電池を使ったり、新しい電池と古い電池を併用しないでください。
	破裂したり、液が漏れたりして、火災、けが、汚損の原因になります。
	電池の＋と－の向きに注意してください。
	向きが正しくない場合、破裂したり、液が漏れたりして、火災、けが、汚損の原因になります。

使用上のご注意

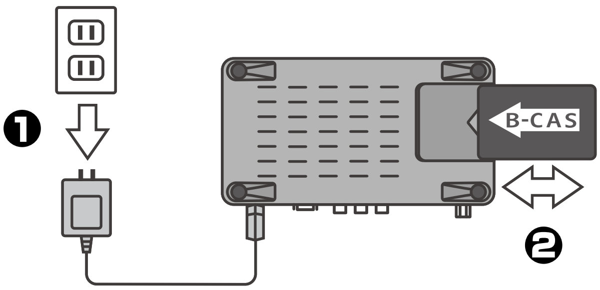
- 本機とコンセントとの接続には、付属の AC 電源ケーブル以外使用しないでください。
- 本体の通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所に設置しないでください。
- 長時間使用すると、放熱のため本体が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。
- 本機の電源はテレビの電源と連動していません。テレビを視聴しないときは本機の電源も忘れずに切ってください。
- 本製品は､社団法人電波産業会（ARIB）が定める規格に準拠した仕様になっています。将来、規格の変更があった場合は、予告なしに仕様を変更する場合があります。
- 本機の不具合により視聴できなかった場合や、ダウンロードによる情報が消失した場合などの保証はいたしかねます。
- 電源が入っている状態で、本機がまったく動作しなくなった場合は、本機の電源を切ってから、再度電源を入れなおしてください。それでも改善されない場合は、電源ケーブルを本体から外して、本機、コンセントの順で再度接続してから電源を入れてみてください。

B-CAS カードについて

デジタル放送の受信には B-CAS カードが必要です。視聴するときは、本体に付属の B-CAS カードが挿入されていることを確認してください。また、B-CAS カードを紛失、破損などされた場合は、B-CAS カスタマーセンターにお問い合わせください。

視聴中および待機中は B-CAS カードの抜き差しをしないでください。B-CAS カードを抜き差しするときは、電源プラグをコンセントからはずしてから行ってください。通電状態での B-CAS カードの抜き挿しにより、映像、音声、その他の情報が受信できなかった場合の保証はいたしかねます。

B-CAS カードの着脱は電源ケーブルをはずしてから

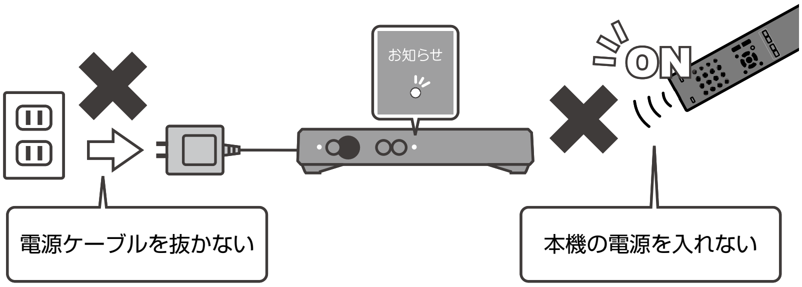


お知らせ機能について

本機には、デジタル放送の放送波を利用して、電子番組表（EPG）を更新したり、本機内蔵のソフトウェアなどを修復または機能拡張させるお知らせ機能が搭載されています。

お知らせ機能は本機が待機状態（本体の電源ランプが赤）のときに自動的に開始されます。お知らせ機能の実行中は、電源ランプが緑色に点灯し、お知らせランプがオレンジ色に点滅します。お知らせランプがオレンジ色に点滅している間は、本機の電源を入れたり、電源ケーブルを抜いたりしないでください。

お知らせランプの点滅中は…



本書について

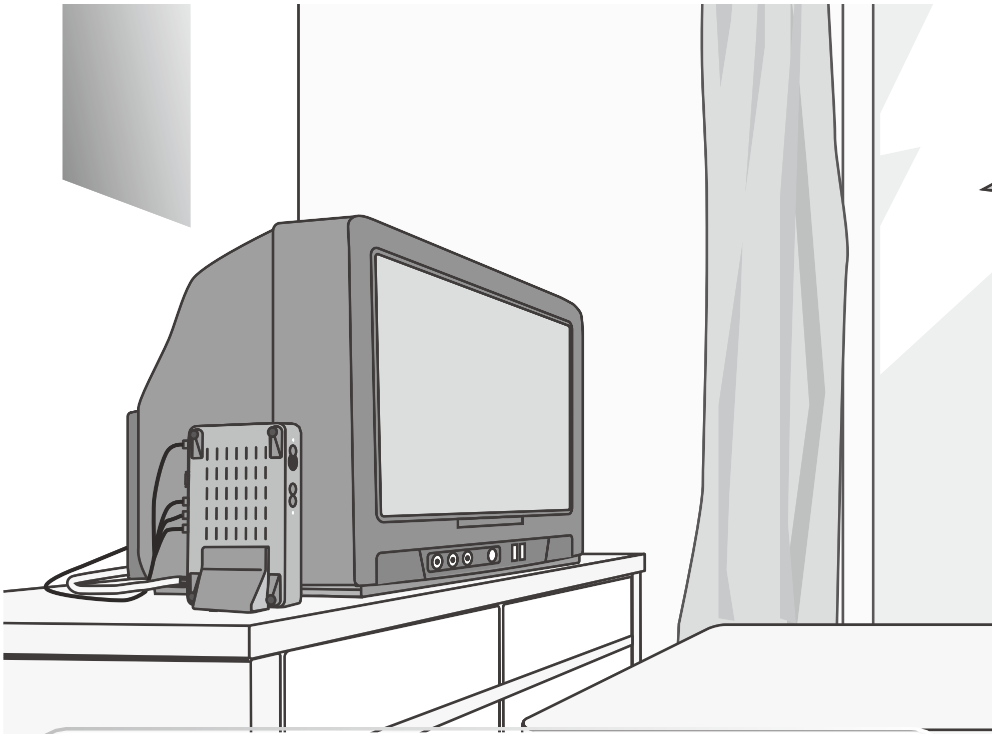
- 本書の内容の一部、およびすべてを無断で転載することは禁じられています。
- 本書で使用している画像の一部は、はめ込み合成です。
- 本書で使用している画像は実際とは異なる場合があります。
- 本書で使用しているマークは以下の通りです。

	このマークは、参考にしていただきたい内容について記述しています。
	このマークは、特に気を付けていただきたい内容について記述しています。

はじめにお読みください

本機でできること

本機はお使いのアナログ放送専用テレビでデジタル放送を見ることができる地上デジタルハイビジョンチューナーです。
アンテナケーブルとテレビの間に本機を中継することで、手軽にデジタル放送がお楽しみいただけます。
本機では、デジタル放送の以下の機能が利用できます。



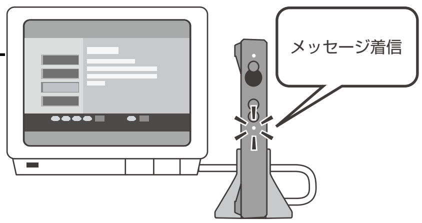
字幕放送

字幕表示に対応した番組の場合、画面に字幕を表示することができます。また、番組が複数の言語に対応している場合、表示する言語も選べます。



お知らせ機能

デジタル放送の放送波を利用して、本機からのお知らせをテレビ画面上で確認することができます。本機に内蔵されているソフトウェアのアップデートに利用されます。



デジタル放送とは？

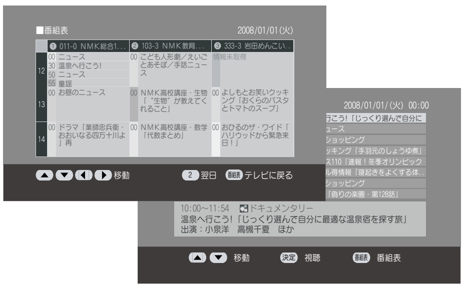
デジタル放送とは、デジタルハイビジョンの高画質・高音質でテレビ番組を見たり、データ放送や字幕表示など、さまざまなサービスを受けることができるテレビ放送です。デジタル放送は 2003 年から放送が開始され、2006 年 12 月には全国すべての県庁所在地で放送が開始されています。今後も放送エリアを拡大し、2011 年 7 月までに現在のアナログ放送は、デジタル放送に移行することが決定されています。

※ 本機ではデジタル放送の機能の一部をご利用できます。



EPG (電子番組表)

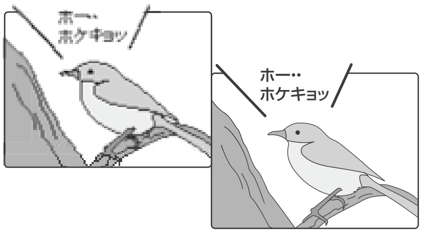
デジタル放送では、放送波に番組表情報が含まれており、本機がこのデータを読み取ることで、画面上に番組表を表示することができます。通常の番組表に加え、同時刻に視聴中以外の放送局の番組一覧（裏番組表）を表示することもできます。



ハイビジョン画質

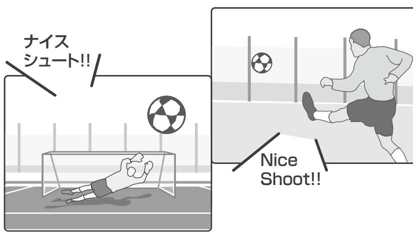
デジタル放送では、デジタルハイビジョンで番組が放送されるため、従来のアナログテレビに比べて高画質な映像を楽しめます。

※ ハイビジョン放送本来の画質を再現するには、本機とテレビをD端子ケーブル（別売）で接続してください。



マルチ映像・音声

番組に複数の映像や音声が用意されている場合、映像や音声を切り換えることができます。たとえば、映像のアングルを切り換えたり、音声を日本語と英語で切り換えたりすることができます。



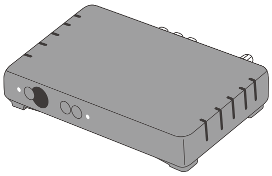
確認しよう

接続の前に確認すること

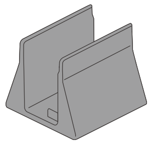
内容品を確認する

本製品に付属する内容品を確認しましょう。

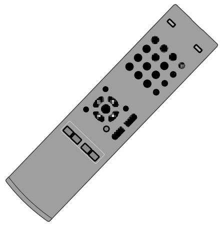
本体



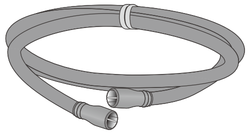
スタンド



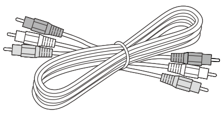
リモコン



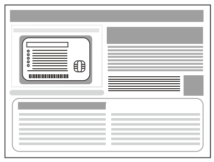
アンテナケーブル



AV ケーブル



B-CAS カード／使用許諾契約書



デジタル放送の受信について

デジタル放送を見るためには、次の 2 つの条件が必要です。

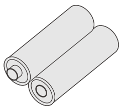
お住まいの地域でデジタル放送が開始されていること

受信できる地域は社団法人デジタル放送推進協会のホームページで確認できます。
社団法人デジタル放送推進協会
URL： http://www.dpa.or.jp/

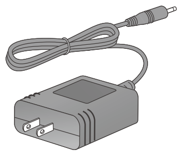
UHF 対応のアンテナを使用していること

目安として、お使いのテレビで 13ch ～ 62ch までチャンネルで番組が受信できていれば UHF 放送に対応しています。UHF に対応しているか不明な場合は、詳しくは本機のお買い上げ店または電器店などにご相談ください。

単４乾電池２本
（動作確認用）



ACアダプタ



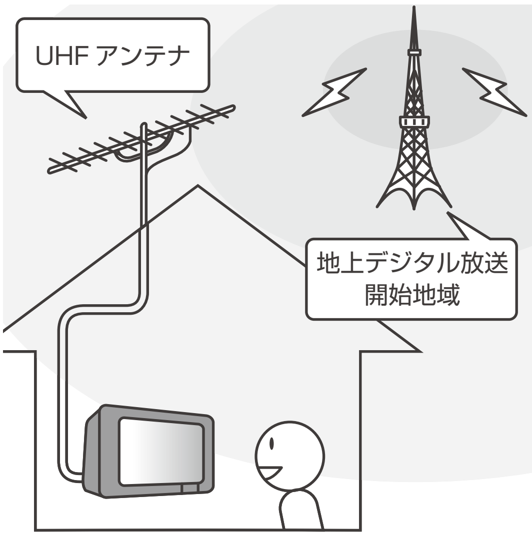
ユーザー登録カード



取扱説明書（本書）

※取扱説明書の裏表紙が
保証書になっています。





B-CAS カードについて

B-CAS カードは、デジタル放送で放映される番組の著作権保護や視聴管理などに必要なカードです。B-CAS カードは対応するデジタル放送受信機によって種類が異なります。必ず本機に付属の青いB-CASカード（地上デジタル専用受信機用）を使用してください。また、B-CAS カードが本機に挿入されていないと、デジタル放送を受信することができません。紛失、破損などされないよう大切に保管してください。

デジタル放送用のアンテナが必要なの？

デジタル放送は、これまで使用していたUHF アンテナで受信できます。ただし、デジタル放送とアナログ放送とでアンテナの受信方向が異なる場合、アンテナの角度調節が必要になったり、増幅器またはデジタル放送用に別のアンテナが必要になることがあります。

集合住宅の場合

マンション、アパートなどの集合住宅の場合、１つのアンテナで受信した電波を各戸に分配する共同受信が行われています。お住まいの建物に UHF アンテナが設置されていれば、デジタル放送を受信することができます。

※ UHF アンテナが設置されていても、アンテナの設置方向によっては受信できない場合があります。設置方向の変更や改修工事については、お住まいの建物の管理会社または管理組合にご相談ください。

確認しよう

各部の名前と役割　本体

前面

電源ランプ

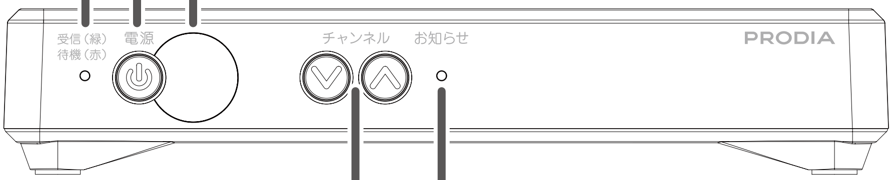
本機の電源の入／切を示します。

電源ボタン

本機の電源を入／切します。

受光部

リモコンの信号を受信します。

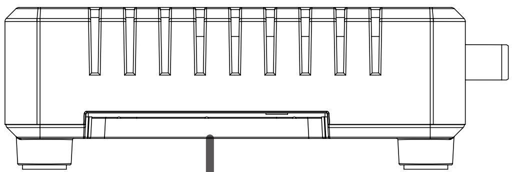


お知らせランプ ▶ P.52

お知らせの受信中は点滅、受信後は点灯します。
お知らせを確認するとランプが消灯します。

チャンネルアップ／ダウン

チャンネルを昇順／降順で切り換えます。



B-CAS カード挿入口 ▶ P.26

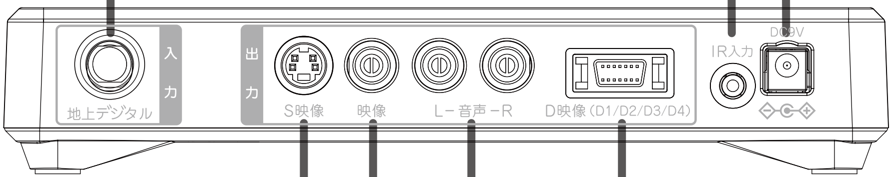
B-CAS カードを差し込みます。

背面

IR 入力 ▶P.15
オプションの受光ユニットを接続します。

アンテナ端子
壁面アンテナ端子からアンテナケーブルを接続します。

電源端子 ▶P.28
電源ケーブルを接続します。



S 映像端子（映像出力）▶P.24
S 映像ケーブル（別売）を差し込んでテレビと接続します。

D 映像端子（映像出力）▶P.24、P.54
D 端子ケーブル（別売）を差し込んでテレビと接続します。

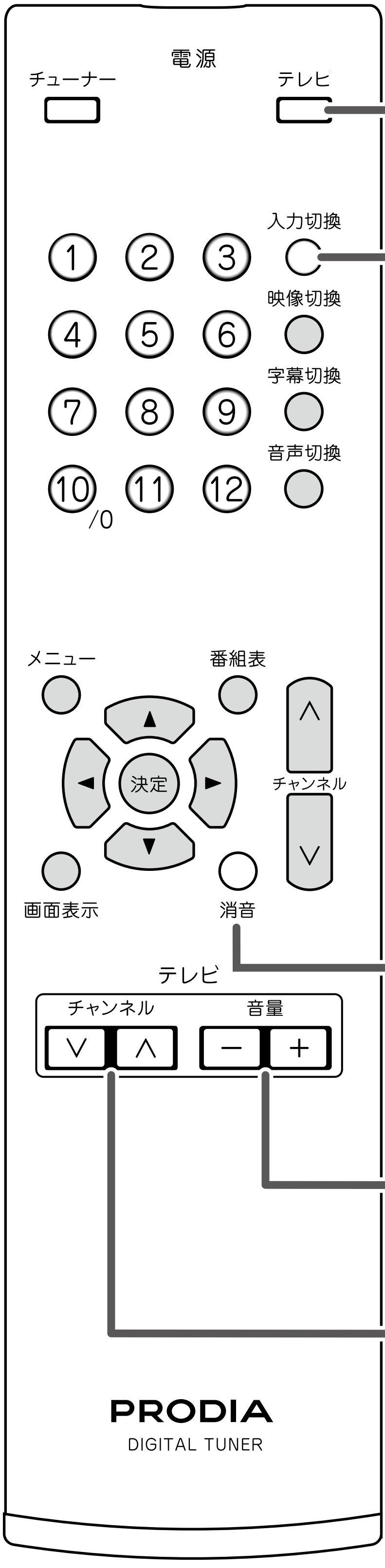
映像端子（映像出力）▶P.24
AV ケーブルの黄を差し込んでテレビの映像入力（黄）と接続します。

音声 L/R 端子（音声出力）▶P.24
AV ケーブルの赤と白または音声ケーブル（別売）を差し込んでテレビの音声入力 (赤・白)と接続します。

確認しよう

各部の名前と役割　リモコン

テレビ本体の操作ボタン



テレビ電源 ▶P.28

テレビの電源を入／切します。

入力切換

テレビに接続されている機器からの映像に切り換えます。

消音 ▶P.34

音量の調節、消音の切り換えをします。

テレビ音量 ▶P.34

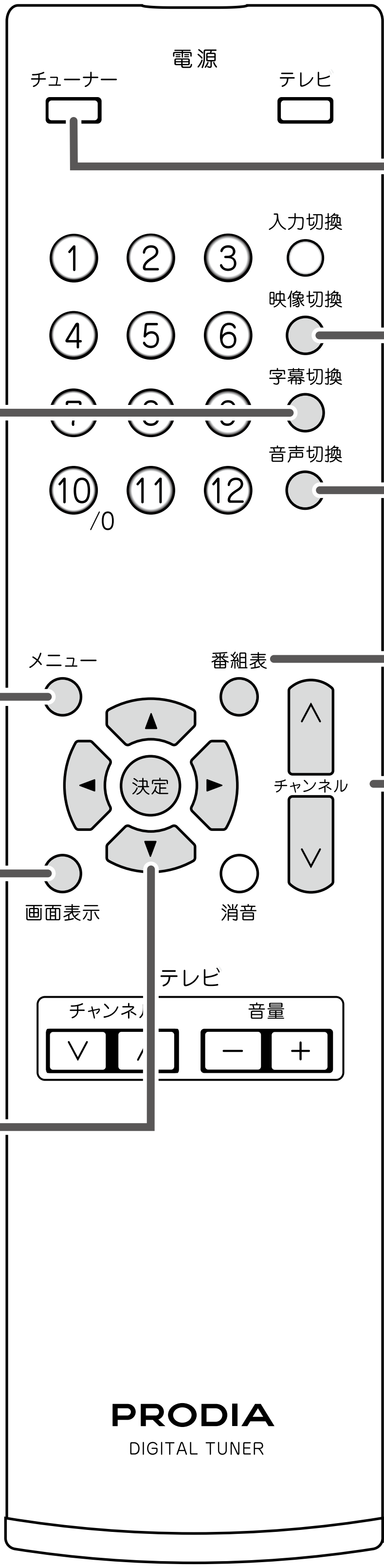
テレビの音量を調節します。

テレビ選局

テレビのチャンネルを切り換えます。

※テレビ本体をリモコンで操作するには、リモコンの設定が必要です。▶P.14

本機の操作ボタン



本機電源 ▶P.28

本機の電源を入／切します。

映像切換 ▶P.42

複数の映像が含まれている番組の場合、映像を切り換えます。

字幕切換 ▶P.42

字幕が含まれている番組の場合、字幕の表示／非表示を切り換えます。

音声切換 ▶P.42

複数の音声が含まれている番組の場合、音声を切り換えます。

番組表 ▶P.36

電子番組表（EPG）を表示します。

メニュー ▶P.40

メニュー画面を表示します。

チャンネルアップ／ダウン ▶P.32

本機のチャンネルを降順（下）／昇順（上）で切り換えます。

画面表示 ▶P.34

見ている番組の詳細情報を表示します。

メニュー操作 ▶P.41

メニュー画面で項目を選んだり、操作を決定します。

準備しよう リモコンの準備をする

テレビを見るときの操作や映像・チャンネルなどの設定はリモコンで行います。まずは、リモコンで操作するための準備をしましょう。

1. 電池を入れる

1. リモコン背面のふたを開けます。

2. 付属の単 4 乾電池をセットします。

※ 電池の＋、－の向きに注意してください。

3. ふたを閉めます。

※ 付属の電池は動作確認用のため、通常より早く消耗する場合があります。

2. リモコンを設定する

付属のリモコンでお使いのテレビを操作できるように、テレビメーカーごとのリモコン信号を設定します。

リモコンの [テレビ] を押しながら、お使いのテレビメーカーの番号（下表）を押します。

例：「松下電器 A」の場合

[テレビ] を押しながら、[10/0] を押して、[1] を押す。

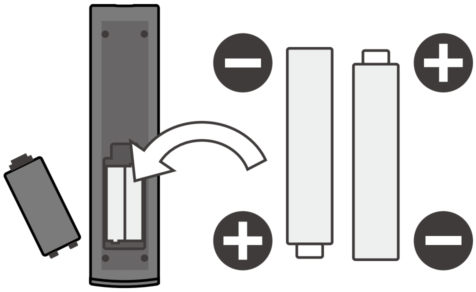
※ リモコンはテレビに向けて操作してください。

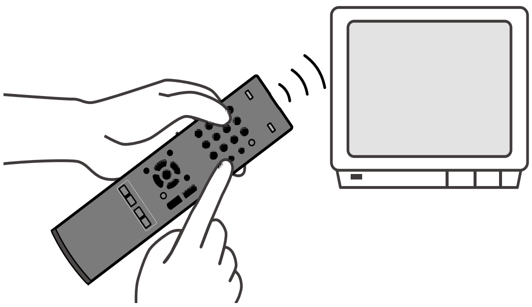
※ メーカーによっては複数のリモコン信号があります。リモコンが動かない場合や同じメーカーの他の機器が誤作動する場合は、別のリモコン信号でお試しください。

メーカー	番号
松下電器 A	10/0 、1
松下電器 B	10/0 、2
SHARP A	10/0 、3
SHARP B	10/0 、4
SHARP C	10/0 、5
三菱電機 A	10/0 、6
三菱電機 B	10/0 、7
東芝 1	10/0 、8
東芝 2	10/0 、9
東芝 3	1 、10/0
ビクター 1	1、1

メーカー	番号
ビクター 2	1 、2
ビクター 3	1 、3
日立	1 、4
SANYO A	1 、5
SANYO B	1 、6
SANYO C	1 、7
SONY 1	1 、8
SONY 2	1 、9
NEC 1	2 、10/0
NEC 2	2 、1

メーカー	番号
富士通 ゼネラル 1	2 、2
富士通 ゼネラル 2	2 、3
富士通 ゼネラル 3	2 、4
パイオニア	2 、5
アイワ 1	2、6
アイワ 2	2 、7
アイワ 3	2 、8
サムスン 1	2 、9





付属のリモコンでテレビの操作ができれば
設定完了です。

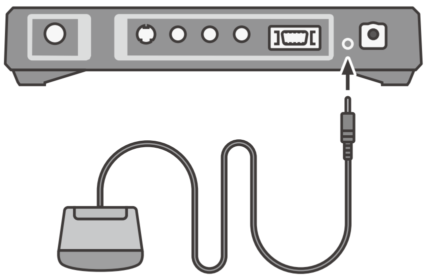
メーカー	番号
サムスン 2	3、10/0
サムスン 3	3、1
サムスン 4	3、2
サムスン 5	3、3
フナイ 1	3、4
フナイ 2	3、5
フナイ 3	3、6
フナイ 4	3、7
フナイ 5	3、8
フナイ 6	3、9
オリオン 1	4、10/0

メーカー	番号
オリオン 2	4、1
LG 1	4、2
LG 2	4、3
LG 3	4、4
LG 4	4、5
LG 5	4、6
LG 6	4、7
LG 7	4、8
フィリップス 1	4、9
フィリップス 2	5、10/0
フィリップス 3	5、1

リモコン受光ユニットの取り付け（オプション）

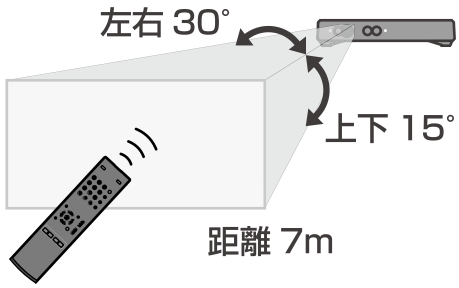
本体が隠れてしまい、リモコン操作がしにくい場合などは、オプションのリモコン受光ユニットを取り付けることをおすすめします。本体の IR 入力端子に接続してください。

※ IR 入力端子にリモコン受光ユニットを接続しているときは、本体側の受光部は反応しません。



リモコンの使い方

リモコンを操作するときは、リモコンの先端を受光部に向けてください。リモコンは受光部から約 7m、上下 15°、左右 30°の範囲内で操作できます。



※ オプションのリモコン受光ユニットも上図の範囲内で操作できます。

接続しよう

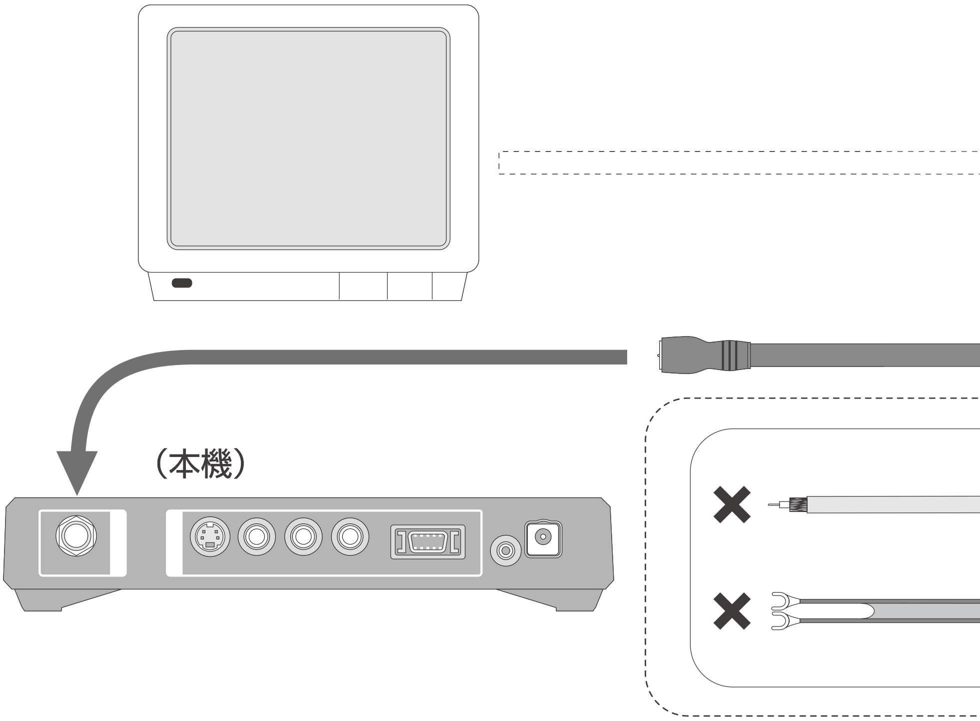
アンテナをつなぐ

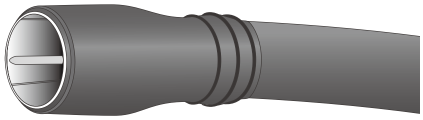
アンテナケーブルの接続は、お使いのテレビのアンテナケーブルをそのまま使う場合と、新たに配線を設ける場合の２つの方法があります。

現在お使いのテレビのアンテナを使う

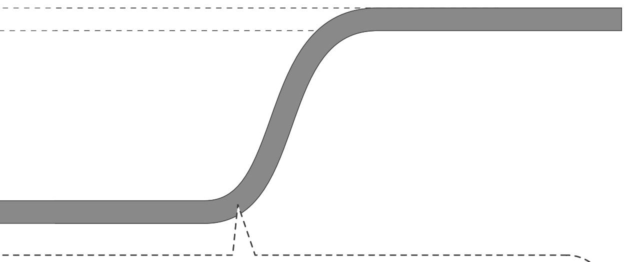
テレビに接続しているアンテナ端子（UHF）がＦ型プラグの場合は、本機につなぎ換えることができます。アンテナケーブルをテレビから抜いて、そのまま本機のアンテナ端子に接続します。

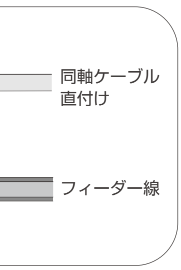
※ この方法で接続する場合、テレビを見るときは常に本機を起動する必要があります。また、受信される放送波はデジタル放送だけになります。





F 型プラグ





テレビに接続しているアンテナ端子がＦ型プラグでない場合は、交換する必要があります。

※交換の方法はＦ型プラグの説明書を参照してください。
※フィーダー線の場合は整合器が必要です。

接続が完了したら、「テレビとつなぐ」(P.24) に進みます。

デジタル放送とアナログ放送で番組内容は違うの？

2007 年 9 月現在、デジタル放送とアナログ放送ともに同じ番組が放送されています。番組内容は同じですが、デジタル放送ではハイビジョンの高画質・高音質を楽しむことができます。
また､画面上で番組表を確認したり（P.36）、一つの番組で複数の映像・音声を選択したり（P.42）、字幕を表示すること（P.42）などもできます。

次のページへ

接続しよう
アンテナをつなぐ

新しくアンテナケーブルを接続する

本機用として新たにアンテナを接続する場合は、デジタル放送とアナログ放送の両方を 1 台のテレビで受信できます。使用するアンテナ端子を確認して、それぞれの説明ページへ進んでください。

※ 下記のフローチャートは接続の目安です。実際の接続とは異なる場合があります。

Step.1
使用している機器は・・・

Step.2
壁面のアンテナ端子は・・・

- アナログテレビだけ
  - 1 つだけ
  - 2 つある
- アナログテレビと以下のいずれかの機器
  - ・BS や 110 度 CS 放送などの衛星アンテナチューナー
  - ・ケーブルテレビチューナー
  - 1 つだけ
  - 2 つある

Step.3
あなたの接続方法は・・・

A	UHF ／ VHF 混合 ⇒ P.20 へ
B	UHF、VHF 独立 ⇒ P.21 へ
C	UHF ／ VHF ／ BS ／ CS 混合 またはケーブルテレビ ⇒ P.22 へ
D	UHF ／ VHF 混合と BS、CS またはケーブルテレビ ⇒ P.23 へ

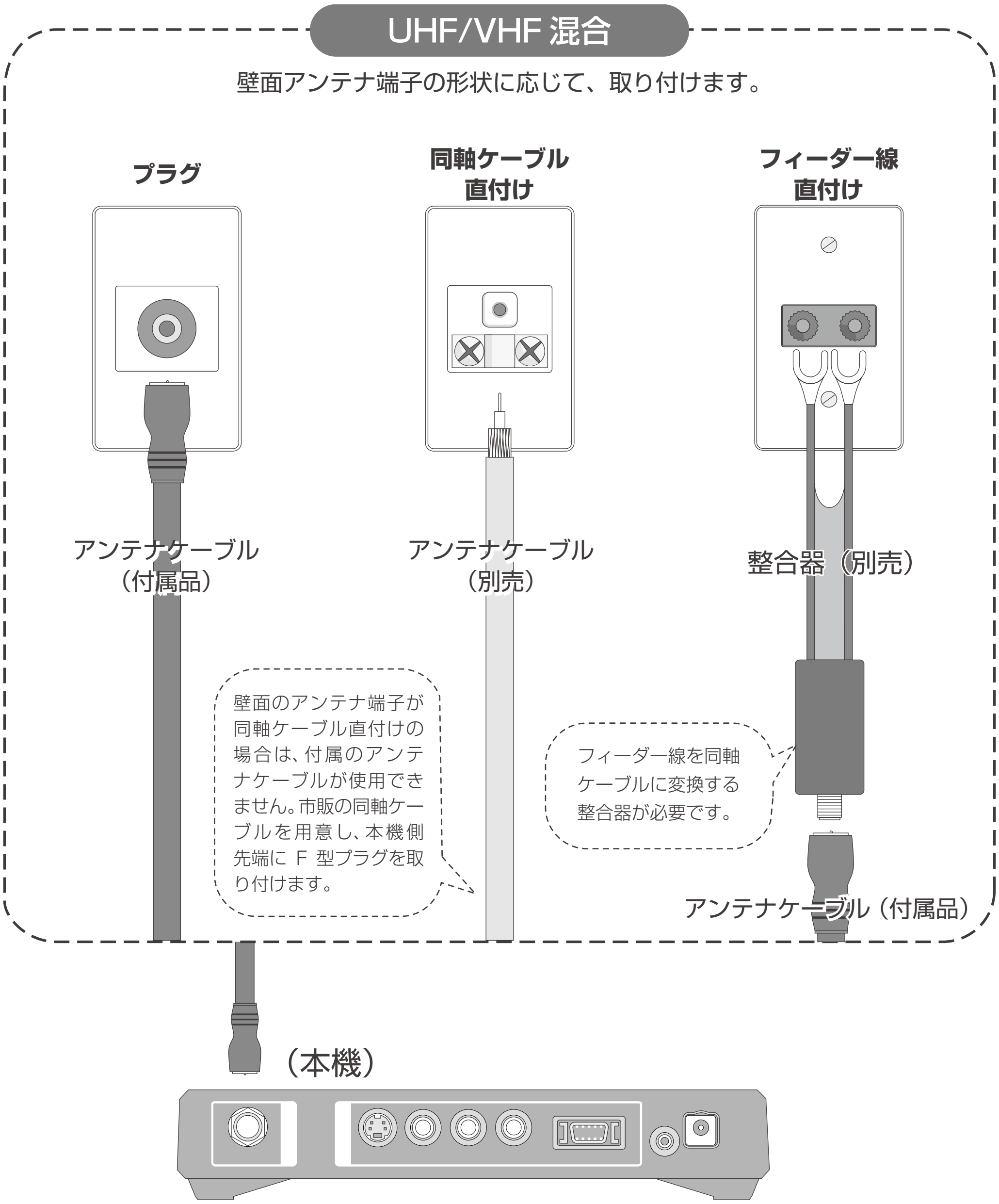
A

UHF／VHF 混合

下図のとおり接続します。
端子がＦ型プラグ式の場合、付属のアンテナケーブルを利用できます。Ｆ型プラグ以外の場合は加工が必要になります。

※ 同軸ケーブル直付け使用の場合は、アンテナケーブル（Ｆ型プラグ付）、フィーダー線使用の場合は、整合器が別途必要です

▶ 接続が完了したら、「テレビとつなぐ」（P.24）に進みます。



※別売のアンテナケーブルには同軸ケーブルを使用してください。

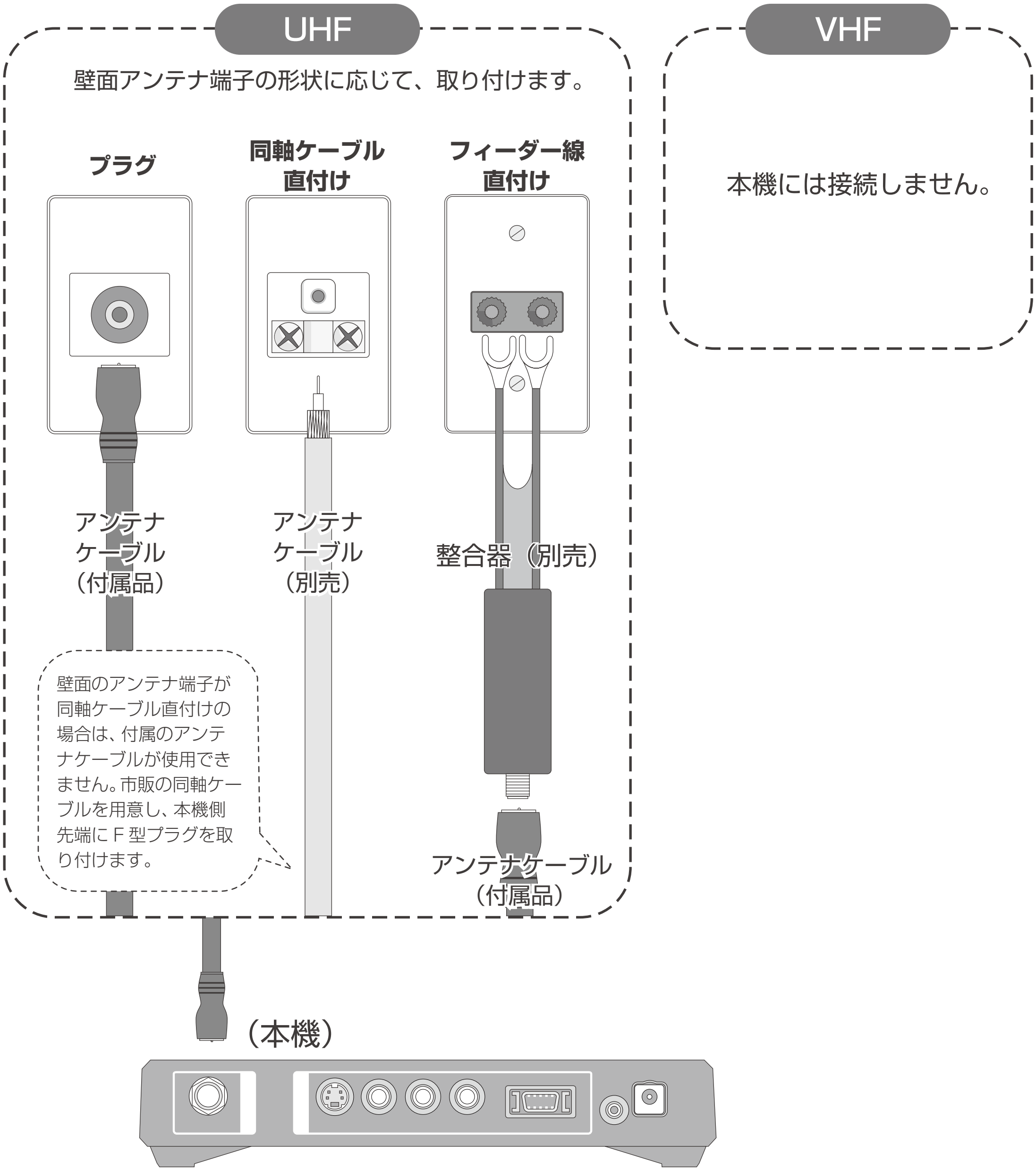
B

UHF、VHF 独立

下図のとおり接続します。
VHF の端子は本機に接続しません。UHF の端子がＦ型プラグ式の場合、付属のアンテナケーブルを利用できます。
Ｆ型プラグ以外の場合は加工が必要になります。

※ 同軸ケーブル直付け使用の場合は、アンテナケーブル（Ｆ型プラグ付)、フィーダー線使用の場合は、整合器が別途必要です

▶ 接続が完了したら、「テレビとつなぐ」（P.24) に進みます。



※別売のアンテナケーブルには同軸ケーブルを使用してください。

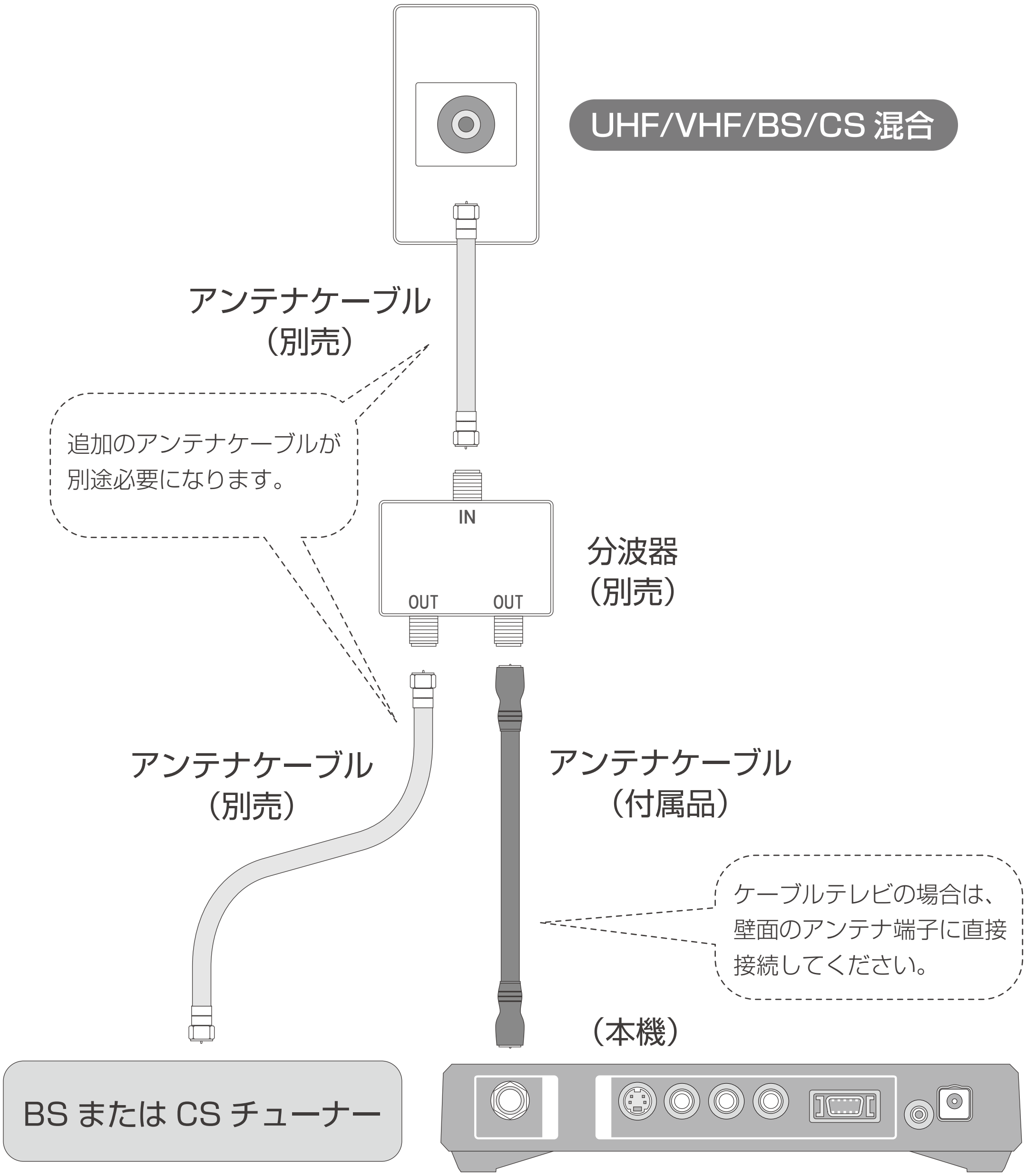
C

UHF ／ VHF ／ BS ／ CS 混合とケーブルテレビ

下図のとおり接続します。
BS、CS 放送は分波器で配線を分けます。ケーブルテレビ（地上波アナログのみ）をご利用の場合は、付属のアンテナケーブルを直接本機に接続してください。

※ BS､CS 放送では分波器とアンテナケーブル（F 型プラグ付）が別途必要です。

▶ 接続が完了したら、「テレビとつなぐ」（P.24）に進みます。



※別売のアンテナケーブルには同軸ケーブルを使用してください。

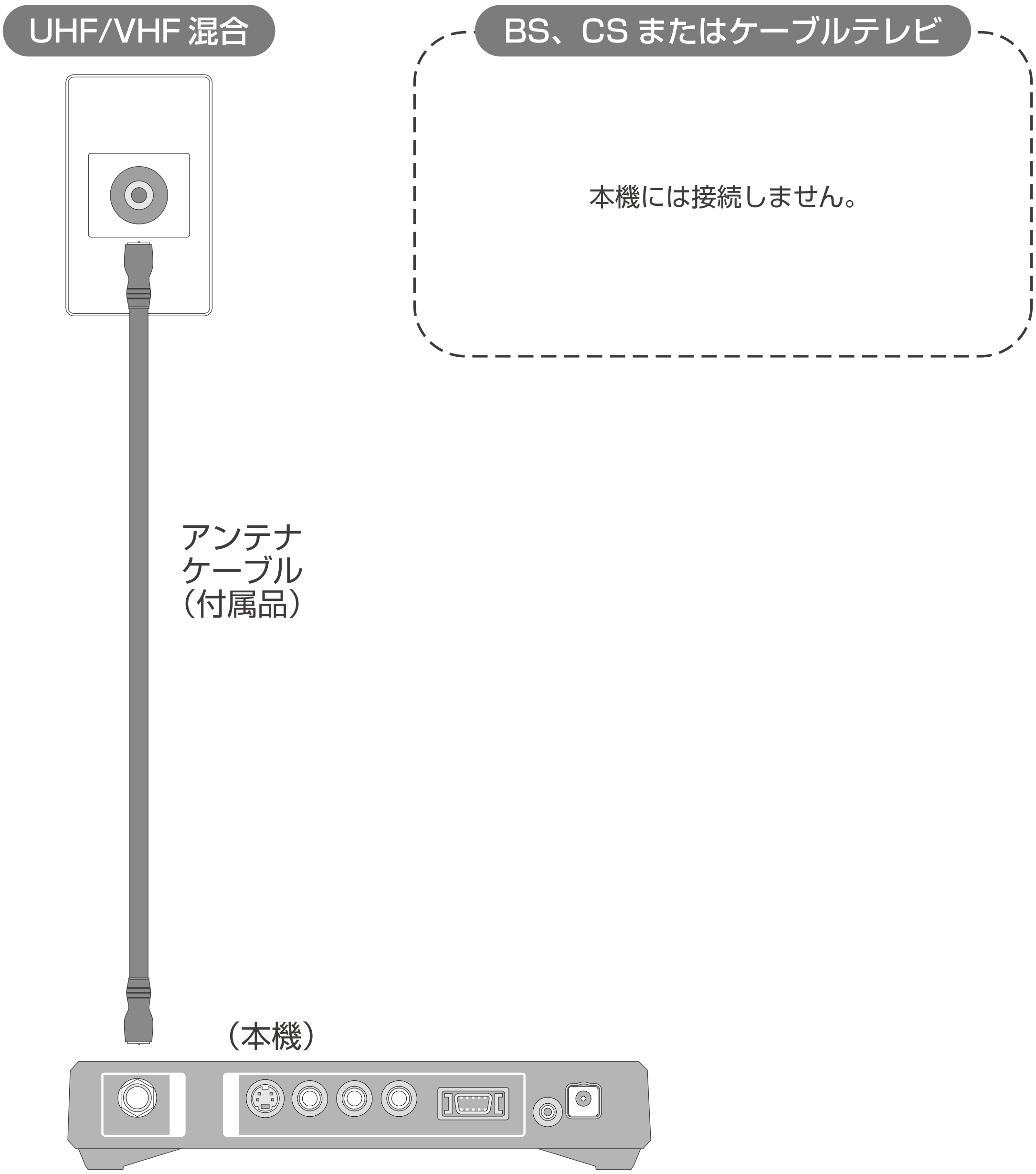
D

UHF ／ VHF 混合と BS、CS またはケーブルテレビ

下図のとおり接続します。
BS ／ CS 放送、ケーブルテレビの端子は本機に接続しません。

※ UHF と VHF のアンテナ端子が独立している場合は、P.21 の方法で接続します

▶ 接続が完了したら、「テレビとつなぐ」(P.24) に進みます。



接続しよう

テレビとつなぐ

本機にはテレビと接続する映像端子が３種類あります。このうちの１つを選んでテレビを接続します。

付属のケーブルで接続する

付属の AV ケーブルで接続する場合は、右図のように接続します。

S 映像ケーブル(別売)で接続する

S 映像ケーブルで接続する場合は、右図のように接続します。

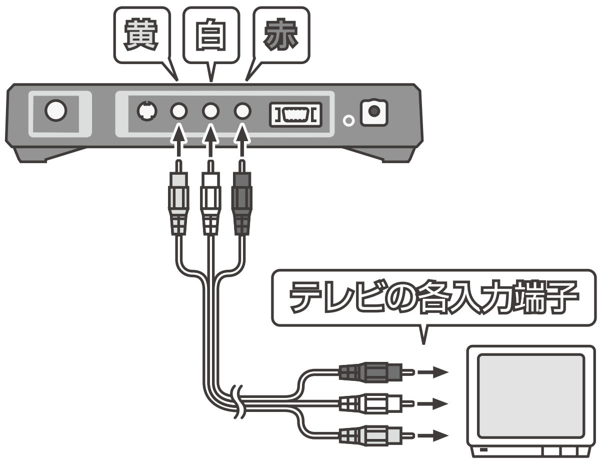
※ 別途、音声ケーブルが必要です。AV ケーブル（付属品）の赤と白を接続することでも代用できます。

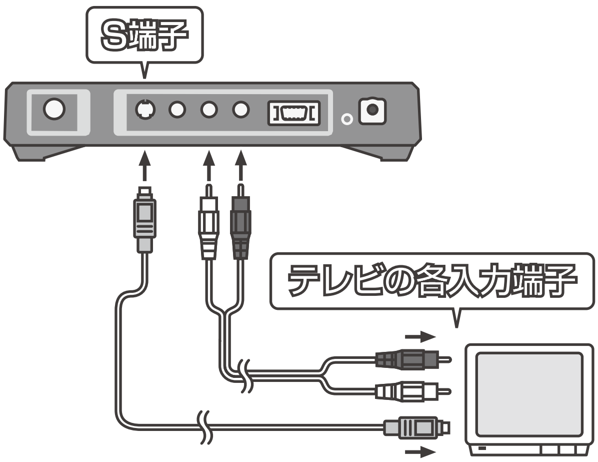
D 端子ケーブル(別売)で接続する

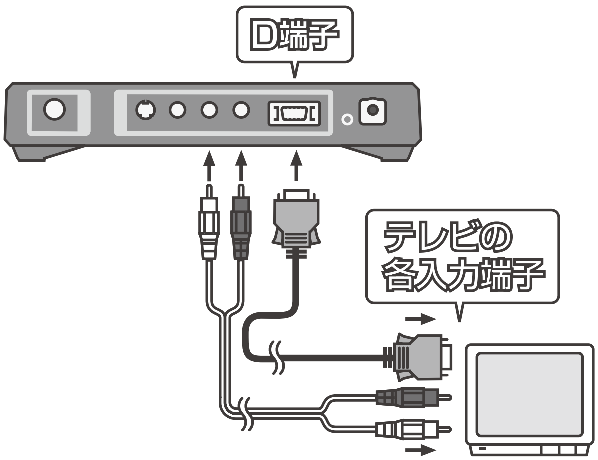
D 端子ケーブルで接続する場合は、右図のように接続します。

※ 別途、音声ケーブルが必要です。AV ケーブル（付属品）の赤と白を接続することでも代用できます。

※ D 端子でテレビと接続する場合は、「D 端子出力設定」が必要です。P.30 までの手順が終了したら、D 端子の設定（P.54）をしてください。







ケーブルの種類と役割

本機には複数の映像端子がありますが、すべての映像端子を同時に使うことはありません。お使いのテレビが搭載している端子に応じて、必要なケーブルをテレビと接続してください。

ケーブル	はたらき
AV ケーブル（コンポジットケーブル）	映像と音声を伝送します。端子が赤と白の線が音声を、黄色の線が映像を伝送します。赤、白、黄それぞれの端子の色に合わせて接続してください。
S 映像ケーブル	映像信号を 2 つ（輝度信号と色差信号）に分けて伝送します。このため、AV ケーブルよりもきれいな画質で表示されます。このケーブルで音声信号は伝送されないので、個別に音声ケーブルが必要です。
D 端子ケーブル	映像信号を 3 つ（輝度信号と 2 種類の色差信号）に分けて伝送します。画質は AV ケーブル、S 映像ケーブルより優れます。このケーブルで音声信号は伝送されないので、個別に音声ケーブルが必要です。また、映像を最適に表示するため、「D 端子出力設定」が必要です。（P.54）

接続しよう

B-CASカードを入れる

B − CAS カードは番組の著作権保護や視聴管理などに利用されるカードです。デジタル放送を見るときは B-CAS カードが必要です。

1. B-CAS カードをはがす

使用許諾契約書から B-CAS カードをはがします。

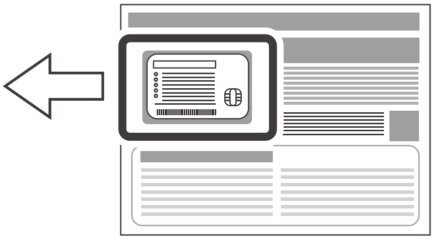
※ 使用許諾契約約款をよくお読みください。

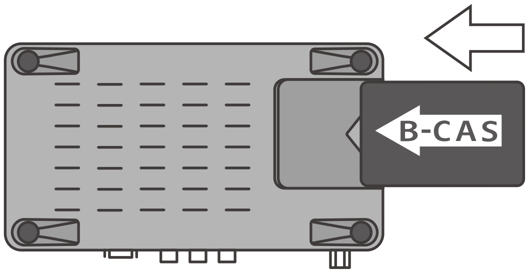
2. B-CAS カードを挿入する

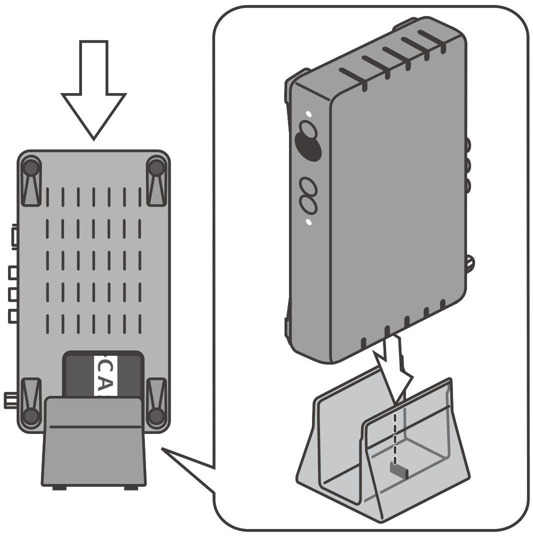
カードの向きに注意して奥まで差し込みます。

3. スタンドを取り付ける（縦置きの場合）

本体を縦置きにしたい場合は、右図のようにスタンドを取り付けます。







B-CAS カードについて

B-CAS カードは、デジタル放送で放映される番組の著作権保護や視聴管理などに必要なカードです。B-CAS カードは対応するデジタル放送受信機によって種類が異なります。必ず本機に付属の青いB-CASカード（地上デジタル専用受信機用）を使用してください。また、B-CAS カードが本機に挿入されていないと、デジタル放送を受信することができません。紛失、破損などされないよう大切に保管してください。

ユーザー登録は必須なの？

ユーザー登録は必須ではありません。ただし、登録していない場合、バージョンアップの連絡が来なかったり、紛失時の再発行手続きがスムーズに行われないなど不便なことがありますので、登録することをおすすめします。
ユーザー登録はがきまたは B-CAS カードのホームページからユーザー登録ができます。

ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
http://www.b-cas.co.jp/index.html

B-CAS カードの抜き差し

B-CAS カードの抜き差しは、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。視聴中や待機中など、本機が通電している状態で抜き差しすると、放送波を受信できなくなったり、お知らせなどの情報が消失する場合があります。

接続しよう

電源を入れる

1. 電源ケーブルをつなぐ

本機をはじめて起動する場合は、通常の使用時とランプの点灯が異なります。詳しくは右記コラム内の「内蔵電池について」をお読みください。

1. 電源ケーブルを本体と接続します。
2. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
3. 電源ランプが赤色に点灯するまで待ちます。

2. 本機の電源を入れる

リモコンの [チューナー] を本体前面または付属のリモコン受光部に向けて押します。

▶ 電源ランプが点滅して、しばらくすると緑色に点灯します。

3. テレビの電源を入れる

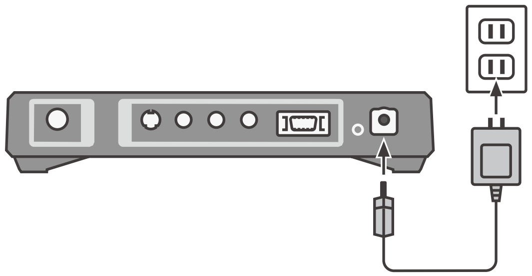
リモコンの [テレビ] をテレビに向けて押します

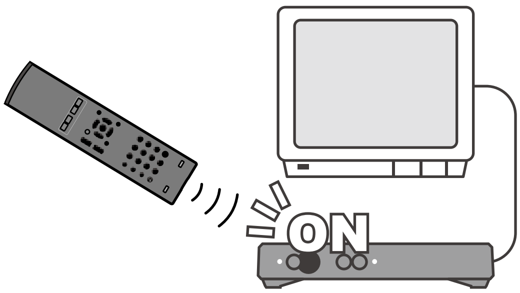
※ テレビの電源を入れるには、事前にリモコンの設定（P14) が必要です。

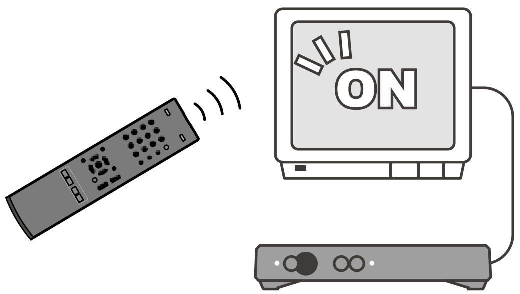
4. テレビの入力を切り換える

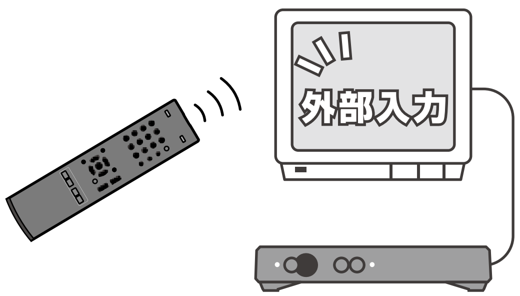
リモコンの [入力切換] で本機を接続したテレビの端子（P.24）の入力に切り換えます。

※「ビデオ 1」や「外部入力 1」など、お使いのテレビによって表示が異なります。









メニュー画面（右上図）が表示されていれば接続は完了です。

本体の設置場所について

本体は風通しのよい場所に設置してください。また、本体の通風孔をふさがないようにしてください。放熱のため、本体が熱くなることがありますが、故障ではありません。

内蔵電池について

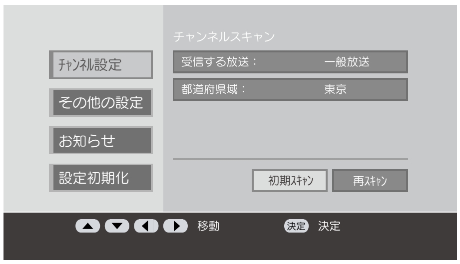
本機には時刻やお知らせ機能で受信した情報を保存するために、内蔵電池が搭載されています。本機をはじめて起動するときや長期間本機をコンセントからはずしていた場合、電源ケーブルを接続すると、内蔵電池の充電が開始されます。内蔵電池の充電中は、電源ランプが緑色に点灯し、お知らせランプがオレンジ色に点滅します。（約 1 分間）
充電が完了すると、電源ランプが赤色に点灯します。

本機の電源について

本機の電源はテレビの電源と連動していません。テレビを視聴しないときはテレビと本機の両方の電源を切ってください。

メニュー画面とは？

メニュー画面は視聴やチャンネル設定などの各種設定を行う画面です。操作はすべてリモコンで行います。＞ P.40



設定しよう チャンネルを設定する

本機をはじめて起動したときは、お住まいの地域で受信できる放送局をチャンネルスキャンして登録する必要があります。

※ここからは付属のリモコンで操作します。

1. 受信する放送を選ぶ

1.[受信する放送] が選択されていることを確認して、[決定] を押します。

2.[一般放送] か [CATV] を選んで [決定] を押します。

※ ケーブルテレビをご利用の場合は [CATV] を、それ以外の場合は [一般放送] を選んでください。

2. 地域を設定する

1.[都道府県域] を選んで [決定] を押します。

2. お住まいの地域を選んで [決定] を押します。

※ この設定は、受信した放送局のチャンネル番号をお住まいの地域で用いられている番号に自動的に割り当てるための設定です。お住まいの地域以外を設定しても、チャンネルスキャンの結果は、実際に受信できる放送局だけになります。

3. チャンネルスキャンを開始する

[初期スキャン] を選んで [決定] を押します。

※ チャンネルスキャンには数分かかります。

4. リモコンボタンの割り当てを変更する

リモコンの①〜⑫にお好みの放送局を割り当てます。そのままでよければ、[メニュー ●] を押してテレビ画面に戻ります。

1. 割り当てを変更したいチャンネルを選んで、[決定] を押します。

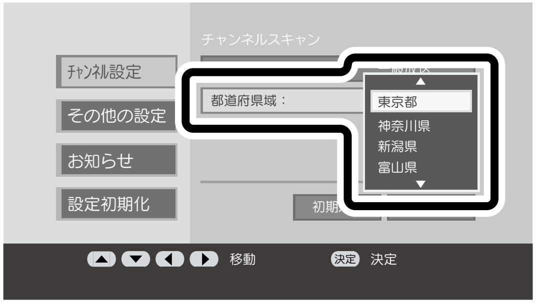
2. 変更するチャンネルを選んで、[決定] を押します。

※ この操作を必要なだけ繰り返します。

3. リモコンの [メニュー ●] を押します。

▶ テレビの画面に戻ります。









以上でチャンネルの設定は終了です。
これでデジタル放送を見ることができます。
デジタル放送を見るときの操作については、P.32 以降を参照してください。

メニュー画面の操作方法

画面上の操作はリモコンの[決定]／[▲]／[▼]／[◀]／[▶]で行います。オレンジ色の部分が現在選択されている項目です。テレビ画面に戻るときはもう一度、[メニュー●]を押します。



[▲]／[▼]／[◀]／[▶]
選択項目（オレンジ色）を移動します。

[決定]
選択項目（オレンジ色）を実行します。

[メニュー●]
テレビの画面に戻ります。

項目によっては、サブメニューが表示されます。サブメニューでは[▲]／[▼]で項目を選んで、[決定]で選択します。



ケーブルテレビをご利用の場合

ケーブルテレビをご利用の場合は、ケーブルテレビ会社からの配信方式がパススルー方式であれば、本機を使用できます。配信方式についてはご契約のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

使ってみよう
基本的な操作

テレビを見るための基本的な操作方法を覚えましょう。

電源を入れる／切る

電源の入／切には、テレビと本機両方の電源を操作します。

電源を入れる

1.[テレビ] を押します。

▶ テレビの電源が入ります。

2.[チューナー] を押します。

▶ 本機の電源が入ります。

※ 電源ランプが緑色に点灯したら操作できます。

電源を切る

1.[チューナー] を押します。

▶ 本機の電源が切れます。（電源ランプが赤色に点灯）

2.[テレビ] を押します。

▶ テレビの電源が切れます。

チャンネルを切り換える

チャンネルの切り換えには 2 つの方法があります。

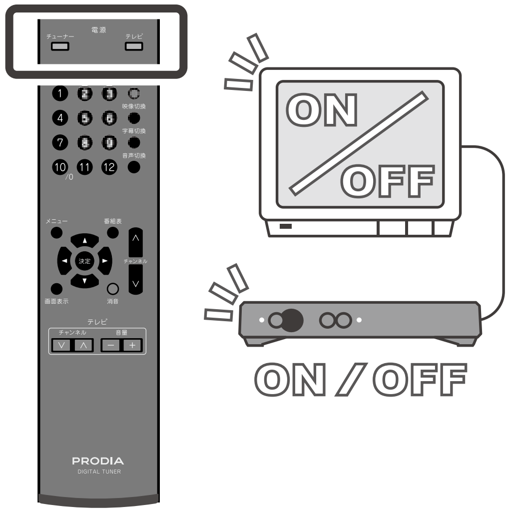
ダイレクト選局

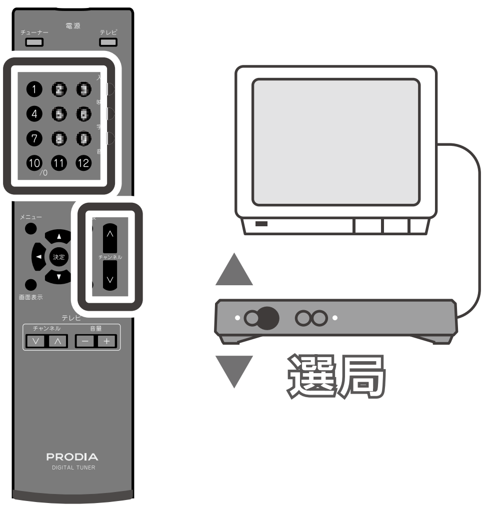
[❶] ～ [⓬] を押します。押した番号のチャンネルに切り換わります。

アップ／ダウン選局

[チャンネル ∧]（昇順）または [チャンネル ∨]（降順）で 1 局ずつ切り換えます。

※ 全国ネット系列に属さない放送局は、その放送局のチャンネル番号にかかわらず、昇順の一番最後に表示される場合があります。





本機の電源について

本機の電源はテレビの電源と連動していません。テレビを視聴しないときはテレビと本機の両方の電源を切ってください。

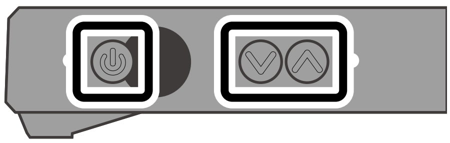
本体のボタンで操作する

本機の電源の入／切とチャンネル切り換えは本体のボタンでも操作できます。

本機の電源を入れる／切る
[電源] ボタンを押す。

※ テレビの電源の入／切はリモコンで行ってください。

チャンネルを切り換える
[∨] または [∧] ボタンを押す。



次のページへ

音量を調節する

音量の操作では、テレビ本体の音量が調節されます。

音声を大きくする

[音量 − +] を押します。

音声を小さくする

[音量 − +] を押します。

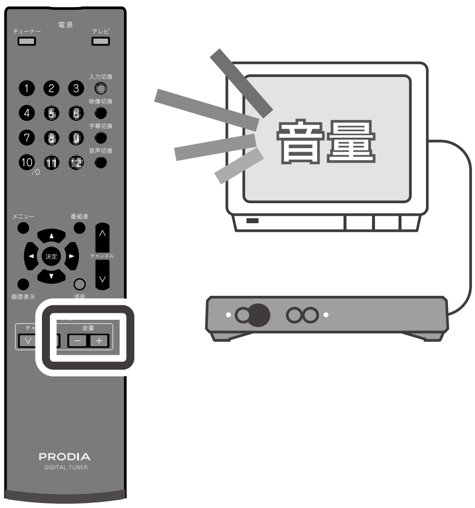
消音する

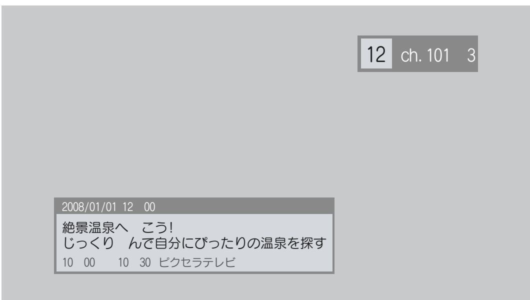
[消音] を押します。もう一度押すと、消音が解除されます。

番組情報を表示する

[画面表示] を押す

▶ 現在の時刻、番組名、放送時間、放送局名が表示されます。





もう一度、[画面表示] を押すと表示が消えます。

使ってみよう
番組表を見る

デジタル放送では放送波に番組表のデータが含まれています。このデータを元に作成された電子番組表（EPG）を画面上に表示することができます。

番組表の取得（自動取得）

番組表は放送波を通じて、自動的に本機にダウンロード（読み込み）されます。読み込みには以下の方法があります。

定時ダウンロード

本機は 1 日 2 回、受信できるすべての放送局の番組表を読み込みます。そのときは本機が待機状態（電源ランプが赤）である必要があります。

同一チャンネルを一定時間見る

電源が入っている状態で、同一のチャンネルに一定時間合わせていると放送波から番組表を取得します。この場合、チャンネルを合わせていた放送局の番組表だけが読み込まれます。

番組表を表示する

番組表には２種類の表示があります。

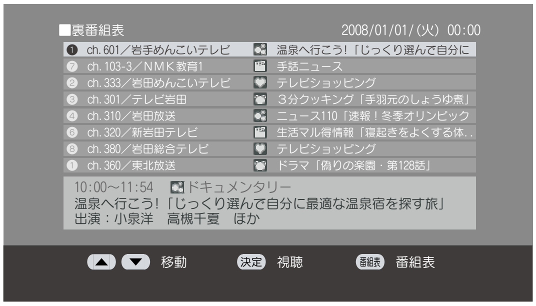
[番組表 ●] を押す

▶ 現在、他のチャンネルで放送されている番組のリスト（裏番組表）が表示されます。

もう一度、[番組表 ●] を押す

▶ 現在の時刻以降の番組表が表示されます。

※ 番組表の表示は、3 放送局について現在時刻から 3 時間分が表示されます。他の放送局や時間帯を見るには、画面をスクロール（見えない部分を移動して表示）させます。> P.38





もう一度、[番組表] を押すと表示が消えます。

本機をはじめて使うとき

本機をはじめて使う場合、まだ番組表を取得できていないため、番組表に何も表示されないことがあります。

次のページへ

使ってみよう
番組表を見る

裏番組表

現在、他のチャンネルで放送されている番組の一覧が表示されます。裏番組表からチャンネルを切り換えることができます。

チャンネルを切り換える

[▲] ／ [▼] で見たい番組を選んで、[決定] を押します。

番組表

現在の時刻以降の番組表が表示されます。当日から 7 日先までの番組表を見ることができます。

別の放送局の番組表を見る

[◄] ／ [►] で番組表をスクロール（見えない部分を移動して表示）します。

別の時間帯の番組表を見る

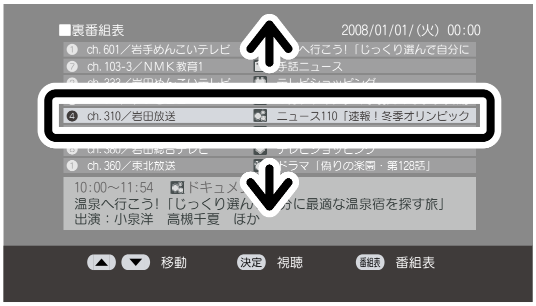
[▲] ／ [▼] で番組表をスクロール（見えない部分を移動して表示）します。

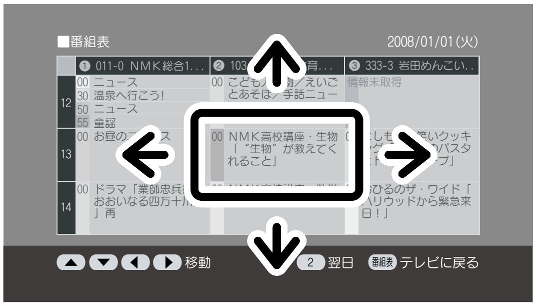
別の日付の番組表を見る

[2] を押すと、翌日の番組表が表示されます。

[1] を押すと、前日の番組表が表示されます。

※ 当日現在時刻より前の番組表は表示できません。

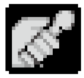
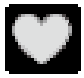
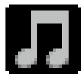
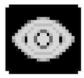
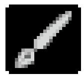
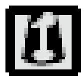
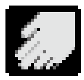
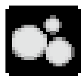






ジャンルアイコンについて

裏番組表に表示されるジャンルアイコンの種類は以下の通りです。

ジャンル	アイコン
ニュース／報道	
情報／ワイドショー	
スポーツ	
ドラマ	
バラエティ	
音楽	
ドキュメンタリー／教養	
趣味／教育	
映画	
アニメ／特撮	
劇場／公演	
福祉	
その他	

メニュー画面

メニュー画面について

メニュー画面は視聴やチャンネルなどの各種設定を行う画面です。操作はすべてリモコンで行います。

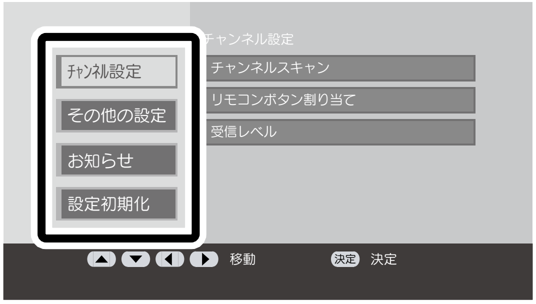
メニュー画面を表示する

[メニュー ●] を押す

メニュー画面の項目

リモコンの [メニュー ●] を押すと表示されるメニュー画面の一覧です。表示したい画面がどこにあるかが確認できます。詳細については、該当するページを確認してください。

メニュー項目		説明
チャンネル設定	チャンネルスキャン、リモコンの割り当て変更などを行います。以下のメニュー項目があります。	
	チャンネルスキャン	本機にチャンネルを登録します。 ＞P.46
	リモコンボタン割り当て	リモコンのボタンに対応する放送局を割り当てます。 ＞P.50
	受信レベル	見ているチャンネルの受信レベルを測定します。 ＞P.56
その他の設定	字幕や画面表示の設定をします。以下のメニュー項目があります。	
	機器情報	B-CAS カードや本機搭載されているソフトウェアの情報を表示します。 ＞P.58
	文字スーパー	文字スーパーの表示／非表示および表示する言語を切り換えます。
	画面モード	画面比率が 4：3 のテレビのときに 16：9 の映像を表示する方法を選びます。 ＞P.44
	D 端子出力	本機とテレビを D 端子ケーブルで接続している場合の D 端子規格を選びます。 ＞P.54
お知らせ		本機に内蔵されているソフトウェアのアップデート情報などを確認します。 ＞P.52
設定初期化		現在のすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。 ＞P.60



もう一度、[メニュー] を押すと表示が消えます。

メニュー画面の操作方法

画面上の操作はリモコンの [決定] ／ [▲] ／ [▼] ／ [◀] ／ [▶] で行います。オレンジ色の部分が現在選択されている項目です。テレビ画面に戻るときはもう一度、[メニュー] を押します。

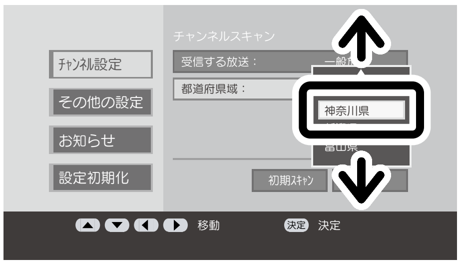


[▲] ／ [▼] ／ [◀] ／ [▶]
選択項目（オレンジ色）を移動します。

[決定]
選択項目（オレンジ色）を実行します。

[メニュー]
テレビの画面に戻ります。

項目によっては、サブメニューが表示されます。サブメニューでは [▲] ／ [▼] で項目を選んで、[決定] で選択します。



視聴の設定

映像・音声を設定する

映像を切り換えたり、字幕を表示したりするなど、デジタル放送ならではの機能が使えます。

映像を切り換える

番組の中に複数の映像が含まれている場合、別の映像に切り換えることができます。

[映像切換 ●] を押す

▶ 押すたびに、別の映像に切り換わります。

※ 複数の映像がない場合は、「切り換えられる映像がありません。」というメッセージが表示されます。

音声を切り換える

番組の中に複数の音声が含まれている場合、別の音声に切り換えることができます。

[音声切換 ●] を押す

▶ 押すたびに、別の音声に切り換わります。

※ 複数の音声がない場合は、「切り換えられる音声がありません。」というメッセージが表示されます。

字幕を表示する

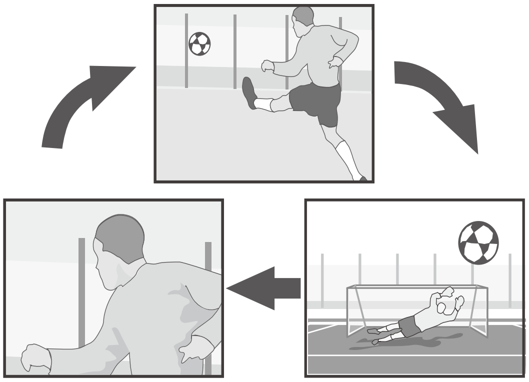
番組の中に字幕が含まれている場合、表示／非表示を切り換えることができます。

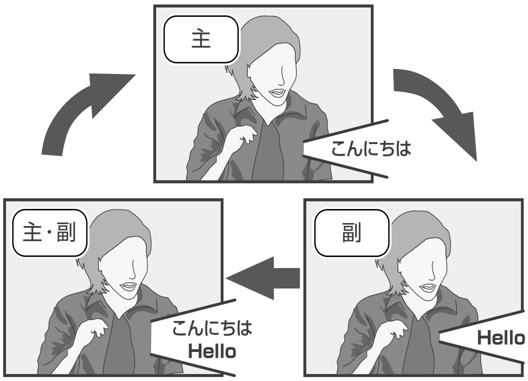
[字幕切換 ●] を押す

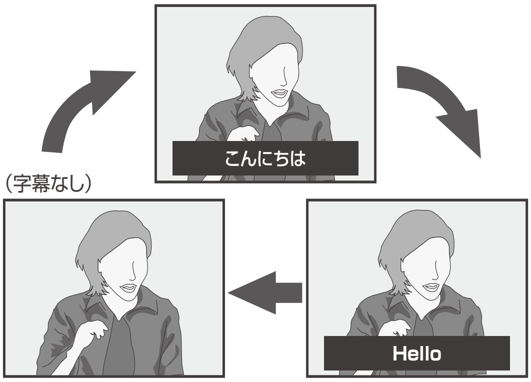
▶ 押すたびに、字幕の表示／非表示が切り換わります。

※ 字幕がない場合は、「切り換えられる字幕がありません。」というメッセージが表示されます。

※ 字幕言語が 2 つある場合は、字幕言語 1 →字幕言語 2 →非表示の順番で切り換わります。







デジタル放送の便利な機能

デジタル放送では、従来のアナログ放送にはなかった便利な機能が使えます。

※ 下記の機能は、それぞれの機能に対応した番組でのみ利用できます。

マルチ映像

マルチ映像に対応した番組では、映像を切り換えることができます。たとえば、野球中継などではお好きな視点で観戦することができます。

マルチ音声

マルチ音声に対応した番組では、音声を切り換えることができます。たとえば、洋画で吹き替えの有無を選んだりすることができます。

字幕放送

字幕が含まれる番組では、アナウンスやドラマのセリフ、緊急ニュースなどを字幕として画面に表示させることができます。また、表示する言語を選ぶこともできます。

次のページへ

画面モードを切り換える

画面比率が４：３のテレビをお使いの場合、画面の表示方法を切り換えます。

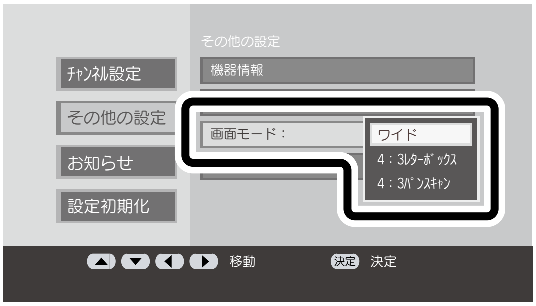
1. メニュー画面から［その他の設定］を選んで、［決定］を押す

2. ［画面モード］を選んで、［決定］を押す

3. お好みの画面モードを選んで、［決定］を押す







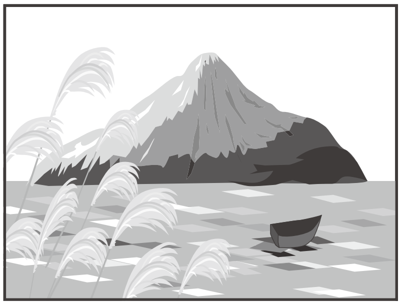
以上で完了です。[メニュー] を押すと、
テレビ画面に戻ります。

画面モードの種類

デジタル放送では、画面比率が 16：9 の映像が配信されています。お使いのテレビの画面比率が 4：3 のときは、16：9 の映像を表示する方法を選びます。

※ 初期設定では、[ワイド] になっています。

ワイド



画面比率が 16：9 の映像の左右を圧縮して表示します。

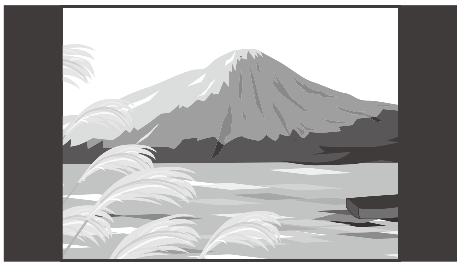
※ 画面の補正機能が搭載されているテレビでは、画面表示が自動的に調整される場合があります。

レターボックス



画面比率が 16:9 の映像を 4:3 のテレビで表示します。画面の上下に黒い帯がつきます。

パンスキャン



画面比率が 16：9 の映像を 4：3 のテレビ画面全体に表示しますが、両横の部分はカットされます。

チャンネルの設定

チャンネルを登録する

チャンネルスキャンをすることで、受信できる放送局を本機に登録します。受信する地域が変わったときや新しい放送局が開設された場合に必要です。

チャンネルスキャンをする

1. メニュー画面から [チャンネル設定] を選んで、[決定] を押す

2. [チャンネルスキャン] を選んで、[決定] を押す

3. [受信する放送] から該当する項目を選ぶ

ケーブルテレビをご利用の場合は [CATV] を、それ以外の場合は [一般放送] を選んでください。







ケーブルテレビをご利用の場合

ケーブルテレビをご利用の場合は、ケーブルテレビ会社からの配信方式がパススルー方式であれば、本機を使用できます。配信方式についてはご契約のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

次のページへ

チャンネルを登録する

4. [都道府県域] から該当する地域を選ぶ

※ この設定は、受信した放送局のチャンネル番号をお住まいの地域で用いられている番号に自動的に割り当てるための設定です。お住まいの地域以外を設定しても、チャンネルスキャンの結果は、実際に受信できる放送局だけになります。

5. スキャンの方法を選ぶ

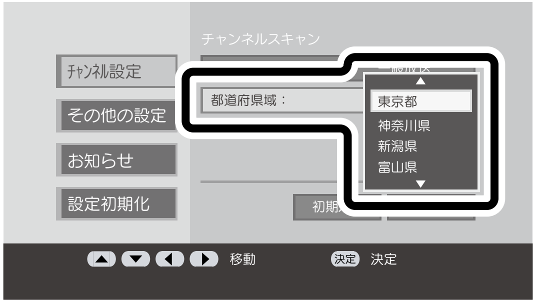
[初期スキャン]
・本機をはじめて使うとき
・引っ越しなどで受信する地域が変わったとき
・本機の設定を初期化したとき

[再スキャン]
・お住まいの地域に新しい放送局が開設されたとき

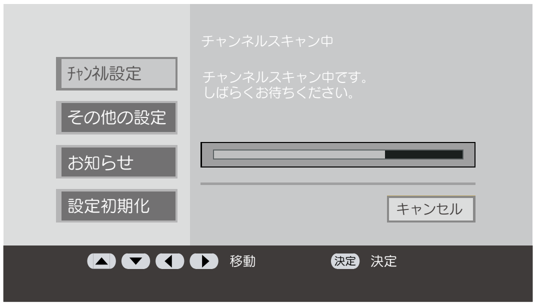
6. [決定] を押す

▶ チャンネルスキャンが開始されます。

※ チャンネルスキャンには数分かかります。







チャンネルスキャンが完了したら、「リモコンの割り当てを変更する」(P.50) の手順 3 から設定を続けます。

チャンネルが登録されないとき

チャンネルスキャンしてもチャンネルが登録されない場合は、本機とアンテナおよびテレビとの接続を確認してください。また、悪天候などにより、一時的に登録できない場合もあります。

チャンネルの設定

リモコンの割り当てを変更する

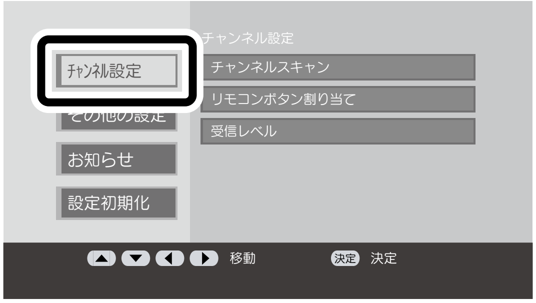
1. メニュー画面から [チャンネル設定] を選んで、[決定] を押す

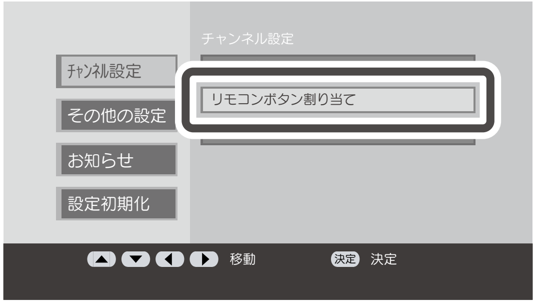
2. [リモコンボタン割り当て] を選んで、[決定] を押す

3. リモコンの割り当てを変更する

1. 割り当てを変更したいチャンネルを選んで、[決定] を押します。
2. 変更するチャンネルを選んで、[決定] を押します。

※ この操作を必要なだけ繰り返します。







以上で完了です。[メニュー] を押すとテレビ画面に戻ります。

同じ放送局名が複数あるとき

デジタル放送では 1 つの放送局が複数のチャンネルを持つことができるため、同時に複数の番組を放送することできます。放送局によっては、別々の番組が放送されている場合もあります。

その他の設定

お知らせを確認する

本機では、デジタル放送の放送波を利用して、本機に関するお知らせを確認することができます。

1. メニュー画面から [お知らせ] を選んで、[決定] を押す

2. 確認したいお知らせを選んで、[決定] を押す

▶ お知らせの内容が表示されます。お知らせを確認すると、お知らせランプが消灯します。

※ お知らせがない場合は、右の画面が表示されます。









以上で完了です。[メニュー] を押すとテレビ画面に戻ります。

お知らせランプの状態について

本機がお知らせを受信しているときは、本体のお知らせランプがオレンジ色に点滅します。お知らせの受信が完了すると、点灯に切り換わります。メニュー画面の [お知らせ] で内容を確認すると、ランプが消灯します。

※ お知らせの受信中（お知らせランプが点滅中）は本機の電源を入れたり、電源ケーブルを抜かないでください。受信中の情報を確認できなくなります。

どんなお知らせがあるの？

お知らせ機能では、本機に内蔵されているソフトウェアの修正や機能の追加（アップデート）に関する情報が受信されます。

内蔵ソフトウェアのアップデート

本機は、デジタル放送の放送波を利用して、本機に内蔵されているソフトウェアを自動的に修正したり、機能を追加することができます（アップデート）。この際、[機器情報] で現在の内蔵ソフトウェアのバージョンを確認してください。アップデートの必要の有無については、メニュー画面の [お知らせ] で確認できます。

その他の設定

D端子の出力を設定する

本製品とテレビをD端子で接続する場合、表示に最適な規格に設定する必要があります。テレビ側のD端子を確認して、適合する規格に合わせましょう。

1. メニュー画面から [その他の設定] を選んで、[決定] を押す

2. [D端子出力] を選んで、[決定] を押す

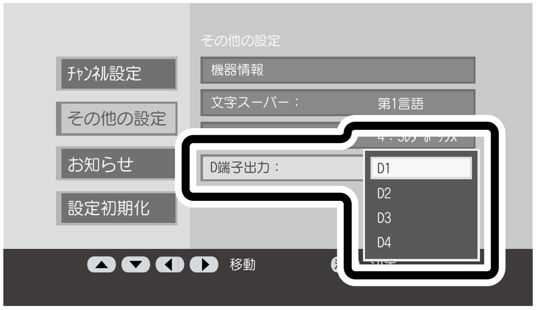
3. 適合する規格を選んで、[決定] を押す

D端子には規格があります。本機とテレビをD端子で接続する場合、最適な規格を選ぶ必要があります。本機にはD1 ～ D4の端子が搭載されています。

テレビのD端子	選択できる規格
D1	D1
D2	D1、D2
D3	D1、D2、D3
D4	D1、D2、D3、D4







以上で完了です。[メニュー] を押すとテレビ画面に戻ります。

D 端子の規格

本機で使用できる D 端子の規格は以下の通りです。

テレビの D 端子	選択できる規格
D1 [480i (525i)]	720 × 480 ドットの映像をインターレース方式で表示します。
D2 [480p (525p)]	720 × 480 ドットの映像をプログレッシブ方式で表示します。インターレース方式より映像のにじみやちらつきが減りますが、動きの激しい映像では、見にくくなる場合があります。
D3 [1080i (1125i)]	1920 × 1080 ドットまたは 1440 × 1080 ドットの映像をインターレース方式で表示します。ほとんどのハイビジョン番組はこの規格で放送されています。
D4 [720P (750p)]	1280 × 720 ドットの映像をプログレッシブ方式で表示します。液晶テレビやプラズマテレビには D4 の端子が搭載されているものがあります。

D 端子のメリット

映像信号を 3 つ（輝度信号と 2 種類の色差信号）に分けて伝送するため、映像をより精密に再現することができます。高解像度の画面を持つテレビに接続することで、デジタル放送のハイビジョン画質を再現できます。

受信レベルを確認する

特定のチャンネルで映りが悪いと感じたときは受信レベルを確認しましょう。受信レベルは天候やアンテナの向きなどによって変化します。

1. 受信レベルを確認したいチャンネルに合わせる

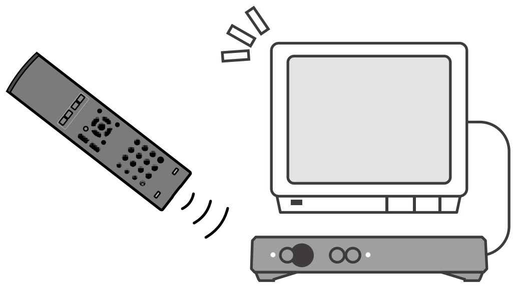
2. メニュー画面から [チャンネル設定] を選んで、[決定] を押す

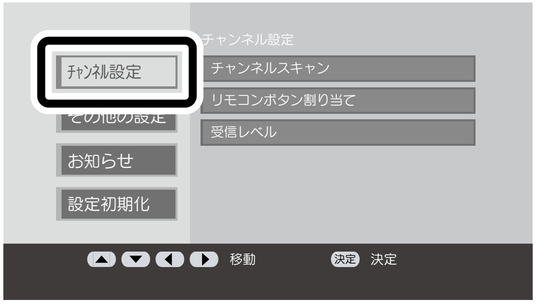
3. [受信レベル] を選んで、[決定] を押す

4. 受信レベルを確認する

60 以上が正常に受信できている目安です。

※ 「受信レベル」画面で [決定] を押すと、他の周波数を選ぶこともできます。









以上で完了です。[メニュー] を押すとテレビ画面に戻ります。

映りが悪いとき

デジタル放送は悪天候などで受信状態が悪くなると、画面がモザイク状になるブロックノイズが発生したり、映像の動きが滑らかでなくなる場合があります。天候が良いときでも映りが悪い場合は、本機とアンテナおよびテレビとの接続を確認してください。それでも改善されない場合はアンテナの調整が必要です。お買い上げの販売店や電器店にご相談ください。

機器情報を見る

機器情報は本機のアップデートや B-CAS カードの情報を確認するときに必要な情報です。

1. メニュー画面から [その他の設定] を選んで、[決定] を押す

2. [機器情報] を選んで、[決定] を押す

機器情報には以下の項目があります。

機器情報の項目	説明
カード識別	B-CAS カードの属性を表しています。
カード ID	B-CAS カード裏面に記載されているカード固有の番号です。
グループ ID	複数の B-CAS カードで同一の契約をする場合の共通番号です。
Firm Version	本機を制御するソフトウェア（ファームウェア）のバージョンです。アップデートの際はこのバージョン番号を確認します。







内蔵ソフトウェアのアップデート

本機は、デジタル放送の放送波を利用して、本機に内蔵されているソフトウェアを自動的に修正したり、機能を追加することができます（アップデート）。この際、[機器情報] で現在の内蔵ソフトウェアのバージョンを確認してください。アップデートの必要の有無については、メニュー画面の [お知らせ]（P.52）で確認できます。

設定を初期化する

設定の初期化とは、これまで変更した設定値を工場出荷時の設定値に戻すことを指します。

1. メニュー画面から [設定初期化] を選んで、[決定] を押す

2. [はい] を選んで、[決定] を押す

3. [はい] を選んで、[決定] を押す

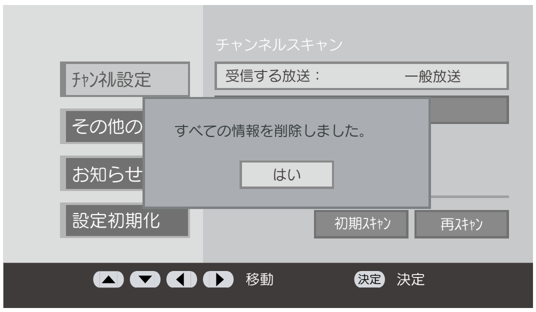
▶ 初期化が実行されます。

4. もう一度、[決定] を押す









初期化が完了すると、チャンネルスキャン画面に移動します。

設定を初期化すると ...

設定を初期化すると登録していたチャンネル情報や映像・音声の設定など、すべての設定が工場出荷時の設定値に戻ります。

こんなときは？

Q. 電源が入らない

A. 電源ケーブルは接続されていますか？接続を確認してください。

Q. 電源が入っているのに操作できない

A. 本機の処理中に何らかの原因でエラーが発生すると、そのままの状態で操作できなくなったり、映像が表示されなくなったりする場合があります。その場合は、本機の電源を切ってから、再度電源を入れなおしてください。それでも改善されない場合は、電源ケーブルを本体から外して、本機、コンセントの順で再度接続してから電源を入れてみてください。

Q. 電源を入れてもすぐに映像が表示されない

A. 本機のソフトウェアが映像を受信して表示するまでに時間がかかる場合があります。電源ランプが点滅しているときはソフトウェアの起動の準備中です。

Q. 映像が表示されない

A. 本機またはテレビの電源は入っていますか？入っていない場合は、電源を入れてください。

A. テレビの入力を切り換えていますか？テレビの入力設定を切り換えてください。

A. 本機とアンテナケーブルおよびテレビは正しく接続されていますか？接続を確認してください。

A. B-CAS カードは正しく挿入されていますか？ B-CAS カードの種類、挿入方向を確認してください。（P.26）

Q. 音声が出ない

A. 本機またはテレビの音声が極端に小さい、または消音になっていることが考えられます。本機またはテレビの音量を上げるまたは消音を解除してください。

A. 本機とテレビは正しく接続されていますか？本機とテレビとの音声端子の接続を確認してください。

Q. リモコンの操作ができない

A. リモコン信号の設定が正しくないことが考えられます。お使いのテレビメーカーに応じたリモコン信号に設定してください。

A. リモコンの操作範囲内で操作していますか？本体の前面または IR 入力端子に取り付けたリモコン受光ユニット（オプション）に向けてリモコンを操作してください。

※オプションのリモコン受光ユニットを接続しているときは、本体側の受光部は反応しません。

A. リモコンの電池が消耗していることが考えられます。電池を交換してください。

A. 電池の極性（＋、－）が逆になっていませんか？正しい極性で電池を入れなおしてください。

Q. メニュー画面が消えない

A. リモコンの [メニュー] をもう一度押すと、メニュー画面が消えます。（P.40）

Q. チャンネル番号が画面から消えない

A. リモコンの [画面表示] で表示したままになっていませんか？リモコンの [画面表示] を押すと表示が消えます。

Q. 映像が乱れる・止まる

A. アンテナの向きが変わっている、または天候が悪いことが考えられます。アンテナの向きを確認してください。また、悪天候のときは、映像が乱れることがあります。

A. 本機とアンテナケーブルおよびテレビが正しく接続されていますか？接続を確認してください。アンテナケーブルのプラグの中にある芯線が折れていないかも確認してください。

A. D 端子で接続している場合、D 端子の設定が合っていないことが考えられます。適合する D 端子の規格に設定してください。

A. 視聴中や待機中など、本機が通電状態のときに B-CAS カードを抜き差しすると、放送波が受信できなくなります。この場合は、一度、電源プラグをコンセントから抜いて、電源を入れ直してください。

Q. 字幕が表示されない

A. 字幕表示機能がオフになっていませんか？リモコンの [字幕切換] を押してください。

A. 番組自体が字幕のサービスを行っていない場合、切り換えできません。（P.42）

Q. 文字スーパーが表示されない

A. 文字スーパーは地震や災害などの速報に用いられることが多いため、常に表示されるものではありません。

Q. 同じ番組内での映像切り換え（マルチ映像）ができない

A. 番組自体がマルチ映像のサービスを行っていない場合、切り換えできません。（P.42）

Q. 同じ番組内での音声切り換え（マルチ音声）ができない

A. 番組自体がマルチ音声のサービスを行っていない場合、切り換えできません。（P.42）

Q. 番組表が更新されない

A. 番組の更新タイミングを逃していることが考えられます。番組表は本機が待機状態（電源ランプが赤）のときに更新されます。更新は 1 日 2 回です。また、同一のチャンネルを一定時間視聴すると、その放送局の番組表だけが更新されます。（P.36）

Q. お知らせランプが点滅している

A. お知らせランプが点滅しているときは、お知らせを受信している途中です。お知らせの受信中は本機の電源を入れたり、電源ケーブルを抜かないでください。受信中の情報を確認できなくなります。（P.52）

Q. お知らせランプが点灯している

A. お知らせランプが点灯しているときは、お知らせのダウンロードが完了しています。メニュー画面の [お知らせ] を確認してください。（P.52）

Q. 本体が熱くなる

A. 本体内部の放熱のため、本体が熱くなることがありますが故障ではありません。

さくいん

数字

アルファベット

A

B

D

E

F

S

U

V

かな

あ

い

う

え

お

か

き

く

け

し

せ

そ

た

ち

て

と

は

ふ

ま

め

も

り

れ

わ

用語集

アルファベット

B-CAS カード

デジタル放送において、番組の著作権保護や視聴管理などに利用されるカードです。デジタル放送を見るときはB-CAS カードが必要です。

CATV

"Community Cable TeleVision" または "Common Cable TeleVision" の略で、ケーブルテレビのことを指します。(「ケーブルテレビ」参照)

D 端子

アナログの映像信号を伝送するための接続端子です。映像信号を 3 つ（輝度信号と 2 種類の色差信号）に分けて伝送します。D 端子には D1 ～ D5 までの規格がありますが、使用する端子はすべて同じです。また、D2 ～ D5 までの規格は下位の規格に対して互換性があります。たとえば、D4 端子で接続している場合、D1 ～ D3 までの規格に対応していることになります。本機には D1 ～ D4 が接続できます。

EPG

"Electronic Program Guide"（電子番組表）の略です。デジタル放送では放送波に番組表のデータが含まれており、本機が番組表のデータを読み取ることで、画面上に番組表を表示することができます。

S 映像端子

アナログの映像信号を伝送するための接続端子です。映像信号を輝度信号と色差信号の 2 つに分けて伝送するため、AV ケーブル（コンポジットケーブル）に比べ、きれいな画質で表示されます。

U/V 混合器

アンテナ配線用の機器です。UHF と VHF の電波を 1 本のアンテナケーブルで伝送する場合に使用します。

UHF

電波の種類の 1 つです。一般的にテレビのチャンネルの 13ch ～ 62ch が UHF にあたります。デジタル放送は UHF の電波にのせて配信されています。

VHF

電波の種類の 1 つです。一般的にテレビのチャンネルの 1ch ～ 12ch が VHF にあたります。

かな

アスペクト比

テレビ画面の縦横比を指します。標準のテレビはアスペクト比が 4：3、ワイドテレビでは 16：9 になっています。

アップデート

ソフトウェアの不具合を修正したり、新しい機能を追加したりするなど、ソフトウェアの部分的な改修のことを指します。本機では、デジタル放送の放送波に含まれるアップデート情報を受信することでアップデートが行われます。

インターレース方式

テレビの画面表示方法の 1 つです。1 フレーム分の映像を走査線の偶数列と奇数列に分割し、2 回に分けて伝送する方式です。現在のテレビ放送やビデオ映像は、ほとんどがインターレース方式を採用しています。

ケーブルテレビ

ケーブルテレビ局から各契約世帯に有線で配信するテレビ放送です。ケーブルテレビではアンテナの設置は必要なく、宅内の配線工事と専用チューナーで受信することができます。

AV ケーブル（コンポジットケーブル）

アナログの映像信号を伝送するための接続端子です。黄、赤、白の 3 つの線で 1 本のケーブルになっています。黄は映像、赤はステレオ音声の右、白はステレオ音声の左を伝送します。

字幕放送

番組の音声を文字化して画面に表示する放送です。デジタル放送では多くの番組で取り入れられています。

整合器

アンテナ配線用の機器です。フィーダー線の端子と同軸ケーブルの端子を接続する場合など、異なる端子を中継する場合に使用します。

走査線

テレビの画面は小さな正方形（画素）で構成されています。この小さな正方形は画面上に規則正しく並んでおり、これらが左上から右下に順番に光ることでテレビの映像が表示されます。走査線とは、これら小さな正方形の水平方向の 1 行のことを指します。

双方向サービス

デジタル放送受信機の通信機能を利用して、番組を見ながらクイズやアンケートへの回答をしたり、紹介されている商品を購入するなど、視聴者が番組に対して働きかけができるサービスです。

※ 本機は双方向サービスに対応していません。

ソフトウェア

コンピュータープログラム全般のことを指します。本機にもデジタル放送を見るためのソフトウェアが搭載されています。

ダウンロード

番組表を取得したり、本機内蔵のソフトウェアを更新したりするなど、デジタル放送の放送波を利用して、情報を読み込むことを指します。

データ放送

番組情報、ニュースや天気予報などの各種情報をホームページのように画面上で選んで表示することのできるサービスです。デジタル放送では、放送波にデータ放送の情報が含まれているため、番組に連動した情報を表示したり、お住まいの地域のニュースやお天気を表示させることができます。
※本機はデータ放送に対応していません。

デジタル放送

2003 年 12 月から開始された新しいテレビ放送サービスです。BS ／ 110 度 CS の衛星デジタル放送や、BS デジタル放送と並ぶデジタル放送のひとつで、地上波の UHF 帯を使用して放送されています。地上デジタル放送では、高画質な映像と 5.1 チャンネルの高音質を提供するほか、番組表、文字放送など情報配信およびクイズ番組への参加など双方向サービスも利用できます。
※本機は双方向サービスに対応していません。

同軸ケーブル

テレビとアンテナの接続に広く使われているアンテナケーブルです。心線の周囲を絶縁体で包み、その上に編んだ銅線で覆って外側をビニールでくるんでいます。心線を編んだ銅線で覆うことで、外部からの電磁波の影響を受けにくくしています。

ハイビジョン

走査線が 1125 本の映像を指します。通常のテレビ映像は走査線が 525 本の画質で描写されていますが、ハイビジョンでは走査線が 1125 本の画質で描写されるため、より高精細な映像になります。ハイビジョンの画質を再現するためには、ハイビジョン対応の受像・表示機器が必要です。

パススルー方式

ケーブルテレビ会社が受信した地上デジタル放送波を契約世帯に配信するときの方式の 1 つです。ケーブルテレビ会社が受信した電波を変調方式を変えずに伝送する方式です。

パンスキャン

アスペクト比が 16：9 の映像を 4：3 のテレビ画面全体に表示する方法の 1 つです。縦のサイズを 16：9 の映像に合わせて、画面いっぱいに表示しますが、両横の部分はカットされます。

フィーダー線

テレビとアンテナの接続に使われるケーブルです。同軸ケーブルに比べて伝送損失が高いため、フィーダー線の配線はできるだけ短くする必要があります。

プログレッシブ方式

テレビの画面表示方法の 1 つです。1 フレーム分の映像を省略せずにそのまま表示する方式です。映像を省略して表示するインターレース方式に比べ、画像のチラつきを軽減でき、高画質を実現できます。

フレーム

テレビの映像は約 1 秒間に 30 枚の画が連続して表示されることで、パラパラ漫画のように動きのある映像として表示されています。この約 1/30 秒に表示される一枚の画をフレームと呼びます。1 フレーム分の映像は、約 1/60 秒に表示される画（フィールド）2 枚で構成されています。

分配器

アンテナ配線用の機器です。1 本のアンテナケーブルで伝送されてくる電波を複数の機器で受信するために用います。分配することにより電波が弱まるため、過度の分配をすると、映像や音声が乱れる場合があります。

分波器

アンテナ配線用の機器です。VHF ／ UHF ／ BS など、複数の電波が混合されて、1 本のアンテナケーブルで伝送されている場合、それぞれの電波を分離します。

マルチ映像

デジタル放送の機能の一つです。対応している番組では、映像（アングル）を視聴者が操作して切り換えることができます。たとえば、マルチ映像に対応している野球中継では、お好きな視点で観戦することができます。

マルチ音声

デジタル放送の機能の一つです。対応している番組では、音声を切り換えることができます。たとえば、マルチ音声に対応している洋画では、吹き替えの有無を選んだりすることができます。

レターボックス

アスペクト比が 16：9 の映像を 4：3 のテレビで表示する方法の 1 つです。レターボックスで表示したときは、画面の上下に黒い帯がつきます。

製品修理依頼書

修理を依頼される場合は、以下の「製品修理依頼書」に必要事項をご記入のうえ、修理品に添付してください。修理品の送付先については、弊社ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。

個人情報取扱いについて	製品修理依頼書の提出にあたっては、下記の「個人情報の取扱いについて」をご確認のうえ、「同意する」にチェックをいれてください。 □ 同意する
製品名	
製造番号	
ユーザー登録 ID	□ 未登録 □ 登録 ユーザー ID :
お名前	ふりがな
ご住所	〒
	都 道 府 県 市 区 町 村
連絡先 ※お見積書が必要な場合はFAXもご記入ください	□ 自宅 □ 携帯 □ 勤務先
	TEL ;
	FAX ;
	メールアドレス ; @
症状 ／ 備考	

【個人情報の取扱いについて】

・提供いただきました個人情報につきましては、サポートサービス、修理サービスおよび、今後の製品品質向上及びサービス向上のためのアンケート以外の目的には利用いたしません。

・お客様の同意なく第三者への情報提供は行いません。

・ご提供いただきました個人情報につきましては、厳重に管理させていただきます。

定格

型番	PIX-XT030-P00	
外形寸法 (横置き)	W196mm × D105mm × H29.8mm　（足および突起部含まず）	
質量	約 350g	
許容動作環境	使用時	温度 0 ～ 40℃、湿度 20 ～ 80% RH （結露なきこと）
電源	電圧	9V
	消費電力	9W
	待機電力	1.5W 以下
入力	AC アダプタ	100V　50Hz/60Hz
	アンテナ端子	F 型コネクタ　入力インピーダンス 75 Ω
	IR 端子	φ 2.5 ピンジャック リモコン受光ユニット（オプション）専用
出力	コンポジット端子（映像・音声）	
	S 映像（S1/S2）端子	
	D1/D2/D3/D4 映像端子	
受信放送	地上デジタルテレビジョン放送	

保証とアフターサービス

お問い合わせ窓口

ピクセラ ユーザーサポートセンター

受付時間　10:00 ～ 17:00（年末年始、土日祝、弊社指定休日を除く）

ナビダイヤル　TEL：0570-02-3500

※ 市内通話料金で、携帯電話からでもご利用いただけます。

ナビダイヤル以外の場合　TEL：06-6633-2990
FAX：06-6633-2992

「故障かな？」と思ったら

本書の「こんなときは？」をご覧ください。それでも解消されない場合、また、診断・修理をご依頼される場合は、弊社ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。

保障期間経過後、保証外修理の場合

修理することで使用できる場合は、ご希望により有償で修理いたします。ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造終了後 5 年です。補修用性能部品の最低保有期間を過ぎた場合でも、故障箇所によっては修理が可能な場合がありますので、お買い上げの販売店または弊社ユーザーサポートセンターまでご相談ください。

ユーザー登録について

弊社では、お買い上げいただいたお客様へのサービス提供のため、「ピクセラ ユーザー登録」をお勧めしております。ご登録いただくことで、弊社新製品情報やキャンペーン情報等をご案内しております。弊社 WEB サイトからご登録いただくか、本製品同梱の「ユーザー登録カード」にてご登録いただけます。

ご登録に関するお問い合わせは

インターネットで、"https://regist.pixela.co.jp/" にアクセスし、「ご登録に関するお問い合わせ」からフォームにてお問い合わせください。

PIXELA CORPORATION

PRINTED WITH SOY INK™ この印刷物は環境にやさしい大豆油インキを使用しています

保証書について

無償修理を受ける場合は、かならず必要になりますので大切に保管してください。保証書の再発行はいたしません。保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って、保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社ユーザーサポートセンターへお問い合わせください。

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、弊社にて無償修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無償修理を受ける場合は、お買い上げいただいた販売店様または、弊社ユーザーサポートセンターまでお問い合せください。なお無償修理に際しては、必ず本書のご提示が必要となります。
3. 保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
   - イ）お買い上げ年月日が確認できない場合、また、販売店名、販売店捺印のない場合（※オンラインでお買い上げいただいた場合は、お買い上げ日を証明する書類（納品書等）が必要となります。）
   - ロ）本保証書のご提示が無い場合、また保証書を書き換えられた、所定事項にご記入なき場合
   - ハ）操作上の誤り、他の機器との誤った接続、及び弊社によらない修理や改造による故障及び損傷
   - ニ）お買い上げ後の輸送、移動時のお取り扱いが不適当なため生じた故障および損傷
   - ホ）火災、風水害、地震などの天災及び異常電圧による故障および損傷
   - ヘ）ご使用中、ケース等に生じるキズなどの外観上変化
   - ト）消耗品（電池など）及び付属品のお取替えの場合
   - チ）譲渡・転売・中古購入の場合
   - リ）液晶パネル、バックライトの経年による劣化の場合（発色、輝度、焼き付き、ドット抜けの増加など）
   - ヌ）経年劣化による故障および損傷
4. 保証期間内でも製品を弊社へ送付された場合の送料及び諸掛りにつきましてはお客様の負担となります。なお、ご送付の際は適切な梱包の上、紛失防止のため受け渡しの確認できる手段（簡易書留や宅配など）をご利用ください。
5. 本製品の故障により、または、その使用により生じた直接、間接の損害につきましては、弊社はその責任を負いかねます。
6. 本製品は将来発表されるハードウェア・ソフトウェアとの互換性は保証いたしません。
7. 修理受付後、弊社技術部門において障害が再現できない場合は、交換、修理をいたしかねる場合があります。
8. 修理によって交換された不良品の所有権は、当社に帰属するものとし、交換した部材に関してのデータ等の内容については一切の責を追わないものとします。
9. 保証期間経過後の修理につきましては、やむを得ない事情により、お客様へ事前通知することなく使用部品などを変更する場合があります。

製品保証書

お買い上げの日から下記保証期間中に、取扱説明書等の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき、無償修理をいたします。故障の疑いがある場合には、まず弊社ユーザーサポートセンターへお問い合わせください。

製品型番		お買い上げ日	年　月　日
製造番号		保証期間	本体：１年

取扱販売店名、住所、電話番号

※ 販売店様へ
お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号をご記入のうえ、お客様に本書をお渡しください。

- 保証書は切り取らず、そのまま保管・ご使用ください。
- お買い上げ年月日、販売店名の記入捺印がない場合は、別途ご購入日を証明する書類（レシート、納品書等）の添付が必要となります。ご確認のうえ記入のない場合は、販売店様にお申し出ください。
- 譲渡、転売した製品につきましては保証外といたします。
- 本保証書は再発行いたしません。大切に保管してください。
- 本保証書は日本国内でのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan)